

大町市公共施設管理 個別施設計画

令和 2 年度

(令和 8 年 3 月一部改定)

長野県大町市

目 次

第1章 公共施設管理個別施設計画の目的等

1	背景・目的・位置づけ	1
2	計画期間	2
3	対象施設	2
4	施設類型ごとの公共施設の方針の見方	4

第2章 施設類型ごとの公共施設の方針

1	集会施設	6
2	文化施設	9
3	図書館	11
4	博物館等	12
5	スポーツ施設	15
6	学校	22
7	保育園	27
8	観光・産業系施設	30
9	保健・社会福祉施設	35
10	庁舎等	39
11	公営住宅	45
12	道路・橋りょう	48
13	上下水道施設	49
14	病院施設	49
15	温泉引湯供給施設	51
16	その他の施設	51
17	通信ケーブル	62

第3章 本計画の充実を図るための方針

1	維持管理の実施方針	64
2	防災機能・耐震化の実施方針	64
3	ユニバーサルデザイン化の実施方針	64
4	脱炭素化の推進方針	64

第4章 フォローアップの実施方針、市民等への情報提供

1	フォローアップの実施方針	65
2	市民や施設利用者への情報提供	65

第1章 公共施設管理個別施設計画の目的等

1 背景・目的・位置づけ

高度経済成長期の急激な人口増加と社会変化により、公共施設の整備が進められてきました。しかし、当時建築された公共施設は建築から50年以上経過し、その多くが耐用年数を超過しています。今後、これらの公共施設は、大規模改修や修繕、建て替えが必要となってきます。

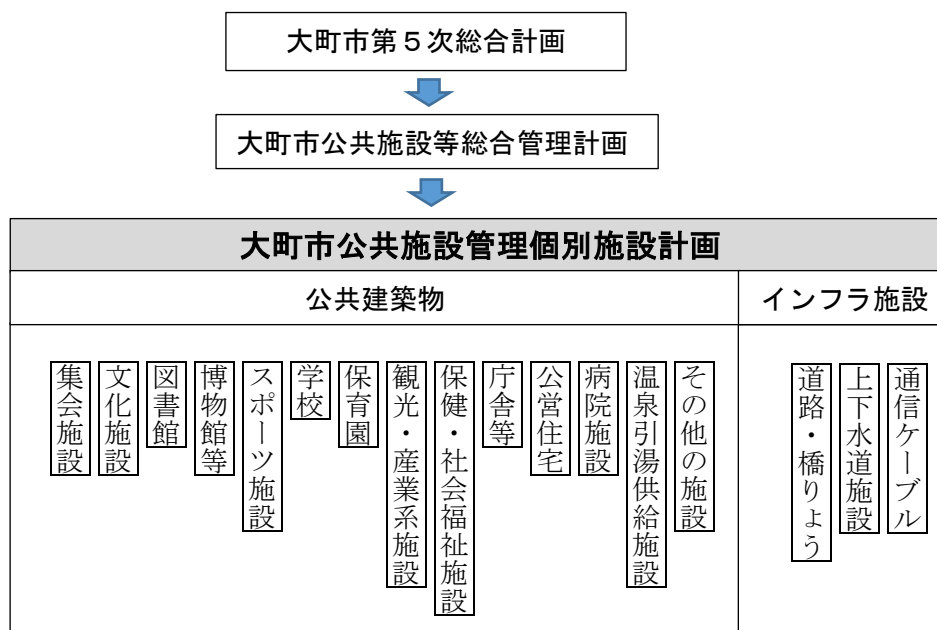
一方、長引く経済の低迷に加え、高齢化に伴う社会保障費の増加、また、人口の減少に伴う税収の減少等によって、将来の財政状況はさらに厳しくなることが見込まれます。

本市においても、人口の減少に加え、少子高齢化が急速に進行をしていく状況の中で、今後、施設の利用需要の低下や利用状況の変化が予想されます。また、施設の老朽化が徐々に進行することに伴い、施設の建替えや改修などの更新費用の増加も見込まれます。しかし、人口の減少に伴う財政規模の縮小等により、厳しい財政状況が続く中で必要な財源を確保することは容易ではなく、施設を現状のまま維持管理していくことは極めて困難な状況にあります。

これらの現状を踏まえて、公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点から機能転換や複合化を検討することにより、施設総量を本市に見合った数へと抑制し、今後も存続させるべき施設の長寿命化を図りながら、持続可能な施設管理と利便性の向上を目指すとともに、財政負担の軽減と平準化を図るため、平成29年3月に大町市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）を策定しました。

大町市公共施設管理個別施設計画（以下「本計画」という。）は、総合管理計画の目標や方針等を実現するため、個別施設ごとの具体的な対応方針を策定するものです。

【体系図】



2 計画期間

本計画は総合管理計画の実施計画として位置づけるため、計画期間は総合管理計画期間に合わせ、令和8年度までとします。

平成 28年度	令和 3年度	令和 9年度	令和 19年度
大町市公共施設等総合管理計画 第1期（平成28～令和8年度）		総合管理計画 第2期 （令和9～18年度）	総合管理計画 第3期
	大町市公共施設個別施設計画 第1期（令和3～8年度）	個別施設計画 第2期 （令和9～18年度）	個別施設計画 第3期

※総合管理計画の更新等に合わせて、本計画の更新等を行います。

3 対象施設

本計画は、総合管理計画に掲げる公共建築物及びインフラ施設から、以下の施設等を除いた施設を対象に計画を策定します。

（1）個別に計画を策定している施設等

- ①大町市大町浄水センター長寿命化計画【平成22年度策定】
- ②大町市大町浄水センター耐震実施計画【平成25年度策定】
- ③大町市林道橋梁長寿命化修繕計画【平成25年度策定】
- ④大町市雨水整備基本計画【平成25年度策定】
- ⑤大町市営住宅等整備計画【平成27年度策定】
- ⑥大町市農業集落排水事業最適整備構想【平成28年度策定】
- ⑦大町市水道事業基本計画【平成29年度策定】
- ⑧大町市水道事業アセットマネジメント【平成29年度策定】
- ⑨大町市橋梁長寿命化修繕計画【令和5年度改定】
- ⑩大町市舗装長寿命化修繕計画【令和5年度策定】
- ⑪大町市トンネル長寿命化修繕計画【令和5年度策定】
- ⑫大町市水道事業経営変更認可計画【令和元年度策定】
- ⑬大町市簡易水道事業経営変更認可計画【令和元年度策定】
- ⑭大町市水道ビジョン【令和元年度策定】
- ⑮大町市公園施設長寿命化計画【令和5年度策定】
- ⑯大町市農業用水利施設長寿命化計画【令和5年度策定】
- ⑰大町市公共下水道事業ストックマネジメント計画【令和2年・3年度策定】
- ⑱大町市公共下水道事業経営戦略【令和6年度策定】
- ⑲大町市温泉引湯事業施設維持修繕計画【平成22年度策定・令和2年度更新】

(2) 総合管理計画の策定後に、除却、譲渡を行った施設

- ①柿の木団地 518.95 m² (平成 27 年)
- ②同和教育集会所 140.91 m² (平成 28 年)
- ③上一団地・上一集会所 1,744.33 m² (平成 28 年 県へ譲渡)
- ④北原町器具置場 20.8 m² (平成 29 年)
- ⑤北小学校便所 27.0 m² (平成 29 年)
- ⑥麻の館 336.62 m² (平成 29 年 自治会へ譲渡)
- ⑦閨田水防倉庫 46.55 m² (平成 29 年)
- ⑧就業施設 264.9 m²
- ⑨大塩高齢者センター 68.3 m² (平成 28 年 自治会へ譲渡)
- ⑩鷹狩山キャンプ場炊事場・便所 23.4 m² (令和元年)
- ⑪野平南器具置場 19.44 m² (令和元年 自治会へ譲渡)
- ⑫柿ノ木器具置場 8.14 m² (令和元年)
- ⑬大平積載車車庫・詰所 49.15 m² (令和 2 年度除却)
- ⑭長畑器具置場 11.65 m² (令和 2 年度除却)
- ⑮石原器具置場 24.3 m² (令和 2 年度除却)
- ⑯森林劇場 411.21 m² (令和 3 年度除却)
- ⑰かえで保育園 941.22 m² (令和 5 年度除却)
- ⑱八坂地区旧農協倉庫 498.58 m² (令和 6 年度除却)
- ⑲東部加工所 81.15 m² (令和 4 年度除却)
- ⑳八坂定住促進住宅野平団地 4 号 429.87 m² (令和 5 年度用途廃止、令和 6 年度譲渡)
- ㉑長平教員住宅 127 m² (令和 4 年 4 月除却)
- ㉒八坂定住促進住宅野平団地 7 号 279.91 m² (令和 6 年度用途廃止、令和 7 年度譲渡)
- ㉓美麻福祉企業センター倉庫 79.32 m² (令和 5 年度除却)
- ㉔北原教員住宅 211 m² (令和 5 年度・令和 6 年度除却)
- ㉕旧農協倉庫 498.58 m² (令和 6 年度除却)
- ㉖陸上競技場スタンド 1,097 m² (令和 6 年度除却)
- ㉗サッカー場スタンド 739 m² (令和 6 年度除却)
- ㉘源汲積載車車庫 18.79 m² (令和 6 年度 自治会へ譲渡)
- ㉙八坂定住促進住宅野平団地 5 号 406.21 m² (令和 6 年度用途廃止、令和 7 年度譲渡)
- ㉚大平教員住宅 4 号 386.77 m² (令和 7 年度除却)

(3) 小規模な施設

・50 m²未満の建物。ただし、計画的な更新・統合が必要な建物（公衆トイレ、消防器具庫等）は除く。

【例 四阿、倉庫、バス停など】

4 施設類型ごとの公共施設の方針の見方

「第2章 施設類型ごとの公共施設の方針」は、総合管理計画「第4章 施設類型ごとの基本方針」により分類しており、次の(1)～(5)の項目について記載しています。

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
NO	施設名称・棟名称	延床面積(m ²)	構造	建築年	耐震履歴	経過	劣化結果	4分類	避難所	担当課

①構造

鉄筋コンクリート造	R C造	鉄骨鉄筋コンクリート造	S R C造
軽量・重量鉄骨造	S造	コンクリート充填鋼管構造	C F T造
木造	W造	コンクリートブロック造	C B造

②建築年 建物を建築した年(明治「M」、大正「T」、昭和「S」、平成「H」、令和「R」)

③耐震履歴 「実施済」、「未実施」、「不要」(昭和56年6月1日以降の建築)から選択

④経過 建築年から令和5年度までの経過年を記載

⑤劣化結果 令和元年度の劣化度調査結果を、総合評価A・B・C・Dの4段階で記載

A	概ね良好
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、ほぼ問題なし
C	安全上、機能上、低下の兆しが見られる
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある

⑥4分類 各施設の施設(劣化結果、耐震等)とサービス(利用状況、コスト等)に分けて行う施設評価を実施(下表「4分類の施設評価」)。各施設が該当する分類箇所(①～④)を記載

【4分類の施設評価】

建物評価 (建築年・耐震・劣化等)	③ 施設の転用、譲渡等を基本に検討 ・建物評価が高く・サービス評価が低い	① 施設の現状維持を基本に検討 ・建物評価・サービス評価とも高い
	④ 施設の廃止(除却)や譲渡等を基本に検討 ・建物評価・サービス評価とも低い	② 施設の移転、建替え等を基本に検討 ・建物評価が低く、サービス評価が高い

サービス評価(利用状況・コスト・役割等)

⑦避難所 指定避難所・福祉避難所は「」、指定緊急避難場所は「」、指定避難及び指定緊急避難場所を兼ねている場合は「」と記載しています。

(2) 施設の位置 「(1) 施設別状況」の施設NOにより、施設の位置を記載

(3) 施設の役割及び現状と課題 「①施設の役割」と「②施設の現状と課題」を記載

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	①				②		③	④
		施設の利用状況（人）				R 6 維持管理（千円）		利用者 1 人 コスト (円)	市民 1 人 コスト (円)
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		

①施設の利用状況（人） R 4～6 年度までの利用状況（利用者数が把握可能な施設）

②R6 維持管理（千円） R 6 年度の施設の維持管理に係る歳入及び歳出

③利用者 1 人コスト (R 6 維持管理「歳出」－「歳入」) ÷ R 6 施設の利用者

④市民 1 人コスト (R 6 維持管理「歳出」－「歳入」) ÷ 25,152 人 (R 6 年 4 月 1 日現在の大大市人口)

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	①						②	
		スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第 1 期	第 2 期

①スケジュール【対策内容、費用（千円）】

令和 3～8 年度の対策内容（上段）及び費用（下段）を記載

【参考】スケジュールに記載の「各年度の対策費用の合計」 (千円)

R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
136,007	104,590	235,231	2,782,013	1,838,671	102,685	5,199,197

②今後の方向性

「建替え」「継続」「転用」「譲渡」「廃止」「移転」「統合」から選択

【第 1 期】：令和 3～8 年度 【第 2 期】：令和 9～18 年度

【参考】「今後の方向性」の延べ施設数（施設数 173 施設）

		建替え	継続	転用	譲渡	廃止	移転	統合	合計
第 1 期	延べ施設数	7	132	10	20	24	3	8	204
第 2 期	延べ施設数	8	127	13	29	35	9	12	233

第2章 施設類型ごとの公共施設の方針

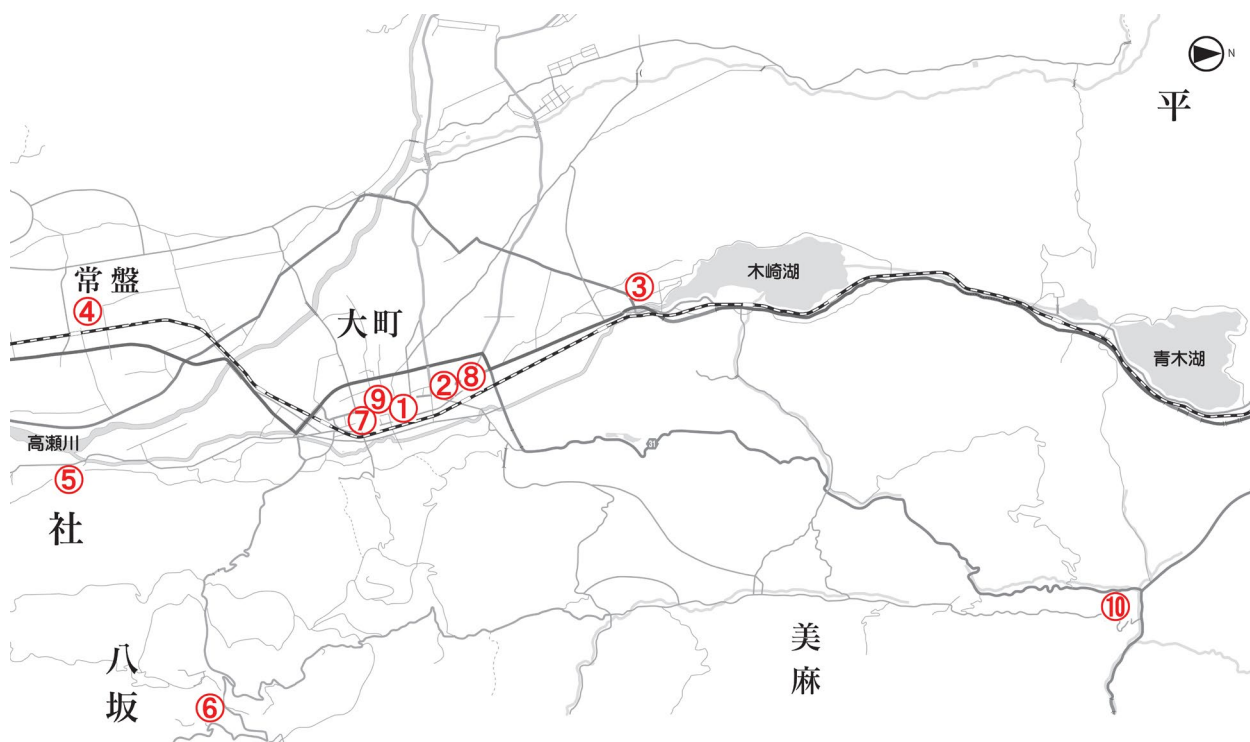
1 集会施設

(1) 施設別状況

No	施設名称・棟名称		延床面積 (㎡)	構造	建築年	耐震 履歴	経過	劣化 結果	4 分類	避難 所	担当課
1	中心市街地多目的ホール		194.40	S造	H18	不要	19	A	①		まちづくり 産業課
2	フレンドプラザ（勤労者福祉施設）		629.94	S R C造	H1	不要	36		①		まちづくり 産業課（補助執行管理：生涯学習課）
3	平公民館・女性未来館ピュア	公民館	996.63	S造	S59	不要	41	B	①		生涯学習課
		ピュア	614.46	S造	S59	不要	41	B			
4	常盤公民館	公民館	1264.7	S造	H4	不要	33	A	①		
		倉庫	61.7	S造	H4	不要	33	A			
5	社公民館・民俗資料館		891.0	S造	S59	不要	41	A	①		
6	八坂コミュニティセンターアキツ	公民館	659.0	W造	H7	不要	30	B	①		
		倉庫	149.0	S造	H7	不要	30	B			
		機械室	20.0	S造	H7	不要	30	B			
7	大町公民館分室		1226.02	S R C造	H3	不要	34	A	①		
8	サン・アルプス大町		1497.75	S R C造	S60	不要	40	A	①		
9	蔵の音楽館		158.66	W造	M37	未実施	121	B	②		
10	ふれあいセンター		350.0	S造	H3	不要	34	B	③		美麻支所

延床面積合計 8,713.26 ㎡

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	中心市街地多目的ホール	・市民の福祉向上と中心市街地の振興を図るための施設
2	フレンドプラザ（勤労者福祉施設）	・勤労者の福祉増進を図る ・貸館業務を通し、地域振興を図る
3	平公民館 女性未来館ピュア	・公民館活動の拠点 ・女性労働者の福祉の増進と地位の向上を図る
4	常盤公民館	・公民館活動の拠点
5	社公民館 民俗資料館	・公民館活動の拠点 ・民俗、歴史その他の資料を収集して保管又は展示し、市民の学術及び文化の発展に寄与するとともに、社会教育活動を推進する
6	八坂公民館（情報コミュニティーセンター アキツ）	・公民館活動の拠点 ・コミュニティ活動の振興や都市交流の推進、地域情報の発信を図る
7	大町公民館分室	・貸館業務を通し、生涯学習社会の実現を図る
8	サン・アルプス大町	・貸館業務を通し、生涯学習の推進及び地域振興を図る
9	蔵の音楽館	・音楽活動の拠点として市民の芸術文化の向上を図る
10	ふれあいセンター	・指定避難所、選挙時の投票所、メンドシーノ訪問団との交流会場、地元自治会の公民館等、市民活動の拠点としての役割 ・過疎地域就業施設整備モデル事業（県補助）を受けて建設。平成 10 年度に事業者（会社）が撤退し、平成 12 年度に介護予防拠点整備事業（県補助）により介護予防拠点として整備後、普通財産となっている。

②施設の現状と課題

NO	施設名	施設の現状と課題
1	中心市街地多目的ホール	・建設後 19 年が経過しており、施設の老朽化も進んでいるため、長寿命化を図るとともに、改修などの時期についても検討が必要であるが、当面は必要な修繕で対応
2	フレンドプラザ（勤労者福祉施設）	・施設の老朽化も進んでいるため、長寿命化を図るとともに、改修などの時期についても検討が必要であるが、当面は必要な修繕で対応 ・施設利用者の人数を増加させることが課題
3	平公民館 女性未来館ピュア	・施設の老朽化は年々進んでいるため、いずれかの年には大規模な改修工事が必要であるが、当面は必要な修繕で対応
4	常盤公民館	・施設の老朽化は年々進んでいるため、いずれかの年には大規模な改修工事が必要であるが、当面は必要な修繕で対応
5	社公民館 民俗資料館	・建設から 41 年が経過しており、施設の長寿命化を図るとともに改修や建替え等の時期の検討が必要 ・当面は必要な修繕で対応
6	八坂公民館（情報コミュニティーセンター アキツ）	・施設の老朽化が年々進んでいるため、機械設備などの改修が必要 ・八坂支所等と併せて、施設の効率化を図る検討が必要
7	大町公民館分室	・施設の老朽化が進んでいるため、小破による修繕箇所や不具合が多く生じている。また、外壁タイルの剥離・脱落もあり全体的な点検が必要と考える。
8	サン・アルプス大町	・施設の老朽化も進んでいるため、長寿命化を図るとともに、改修などの時期についても検討が必要であるが、当面は必要な修繕で対応 ・施設利用者の人数を増加させることが課題
9	蔵の音楽館	・明治 37 年に建てられた土蔵を利用した音楽練習場のため、練習スペースが狭い状況 ・耐震化も含め、今後のあり方について検討が必要

10	ふれあいセンター	・ 建築から 34 年が経過し老朽化が進んでいるため、維持管理のための必要最小限の補修が必要 ・ 介護予防拠点施設として設置条例等が存在しない ・ 施設の有効活用に向けた譲渡等について検討が必要
----	----------	---

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況 (人)				R 6 維持管理 (千円)		利用者 1 人 コスト (円)	市民 1 人 コスト (円)
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		
1	中心市街地多目的ホール	利用者数	1,390	1,521	1,656	0	2,794	1,687	111
2	フレンドプラザ	利用者数	2,310	2,535	2,526	296	2,039	680	69
3	平公民館 女性未来館ピュア	利用者数	17,953	17,915	20,090	469	6,372	302	238
4	常盤公民館	利用者数	12,285	18,658	18,877	426	2,881	130	98
5	社公民館 民俗資料館	利用者数	3,968	4,161	4,172	84	1,383	311	52
6	八坂公民館 (情報コミュニティセンターアキツ)	利用者数	2,048	2,084	1,687	14	4,548	2,695	169
7	大町公民館分室	利用者数	14,474	14,628	14,792	301	2,308	136	80
8	サン・アルプス大町	利用者数	11,719	14,280	15,607	1,438	1,774	22	13
9	蔵の音楽館	利用者数	276	223	450	11	550	1,198	21
10	ふれあいセンター	利用者数	300	250	700	0	451	644	18

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第 1 期	第 2 期
1	中心市街地多目的ホール	施設の継続を前提に施設の長寿命化を図るとともに、適切な維持管理に努める。						継続	継続
2	フレンドプラザ(勤労者福祉施設)			外壁補修・カーペット等内装保守工事			和式トイレの洋式化及び照明設備の LED 化	継続	継続
		修繕等を基本とした維持管理を行い長寿命化を図るとともに、利用促進に努めていく							
3	平公民館女性未来館ピュア				建替え・大規模改修等検討	エアコン移設設置 1,111		継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
4	常盤公民館	エアコン設置 6,875	エアコン設置 5,335	講堂照明 LED 化 2,200				継続	継続
		計画的な修繕（照明の LED 化、外壁の修繕、講堂・ステージの床改修等）と、適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図る。							
5	社公民館民俗資料館				建替え・大規模改修等検討	エアコン移設 367		継続	継続
		計画的な修繕（エアコン設置、照明の LED 化等）と、適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図る。							
6	八坂公民館(情報コミュニティセンターアキツ)	活用方法の検討				転用・移転等の検討		継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図っていくこととしつつも、当施設の現状や課題を踏まえて、令和 7 年度から活用方法、転用や移転等について検討する。							

7	大町公民館分室		講堂空調設備設置工事 9,306	エレベーター改修工事 24,200		エアコン移設設置 2,893	照明LED化工事 23,174	継続	継続	
		運営方法検討								
		計画的な修繕（照明のLED化、外壁の修繕、講堂・ステージの床改修等）と適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図る。								
8	サン・アルプス大町				大会議室LED化 2,364	1階和式トイレ洋式化 5,478	エレベーター修繕 830	継続	継続	
		修繕等（LED化、トイレの洋式化）を行いながら施設の長寿命化を図り、文化会館が10年後に耐用年数である50年を迎えるため、その際一緒に大規模改修を行うか検討していく。								
9	蔵の音楽館	あり方の検討							継続	継続
		建替えを行わないことを基本的な考え方とし、必要な修繕と適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図る。								
10	ふれあいセンター	譲渡等の検討・調整							継続	譲渡
		施設の有効活用に向け、介護予防拠点施設として適切な管理、条例整備を実施、転用や譲渡等が行えるように検討する。								

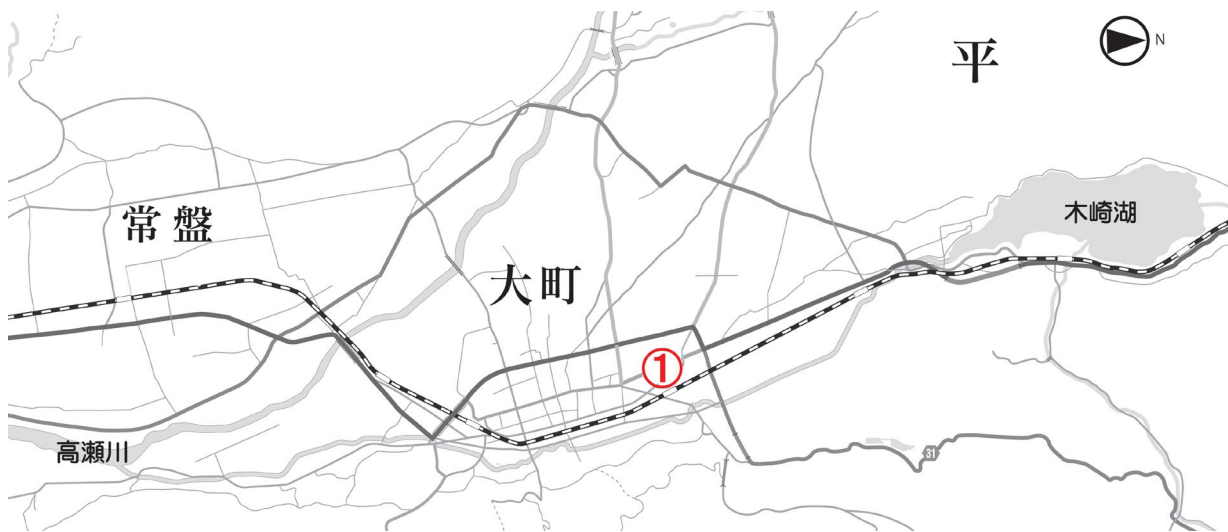
2 文化施設

(1) 施設別状況

NO	施設名称・棟名称		延床面積 (㎡)	構造	建 築 年	耐震 履歴	経過	劣化 結果	4 分類	避難 所	担当課
1	文化会館・大町公民館	本館	5661.95	S R C造	S 61	不要	39		①		生涯学習課
		車庫	16.00	S造	S 62	不要	38				
		自転車置場	28.77	S造	S 62	不要	38				
		倉庫	84.0	S造	H3	不要	34				
		自転車置場	66.64	S造	H3	不要	34				
		車庫	42.00	S造	H3	不要	34				
		自転車置場	15.74	S造	S 62	不要	38				

延床面積合計 5,915.10 ㎡

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	文化会館・大町公民館	・公民館活動の拠点として、社会教育活動の推進や、サークル活動の場所を提供する役割 ・市民の芸術文化の向上を図る役割

②施設の現状と課題

NO	施設名	施設の現状と課題
1	文化会館・大町公民館	・文化会館大ホールの特定期間天井改修工事が必要。 ・施設の老朽化も進んでいるため、長寿命化を図るとともに、改修などの時期についても検討が必要 ・音響、照明、舞台装置は、概ね15年で改修が必要 ・サークルの内容や数なども併せて、利用者の人数を増加させることが課題

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況（人）				R 6 維持管理（千円）		利用者1人コスト（円）	市民1人コスト（円）
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		
1	文化会館・大町公民館	利用者数	39,063	41,703	29,127	5,289	49,392	1,514	1,753

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

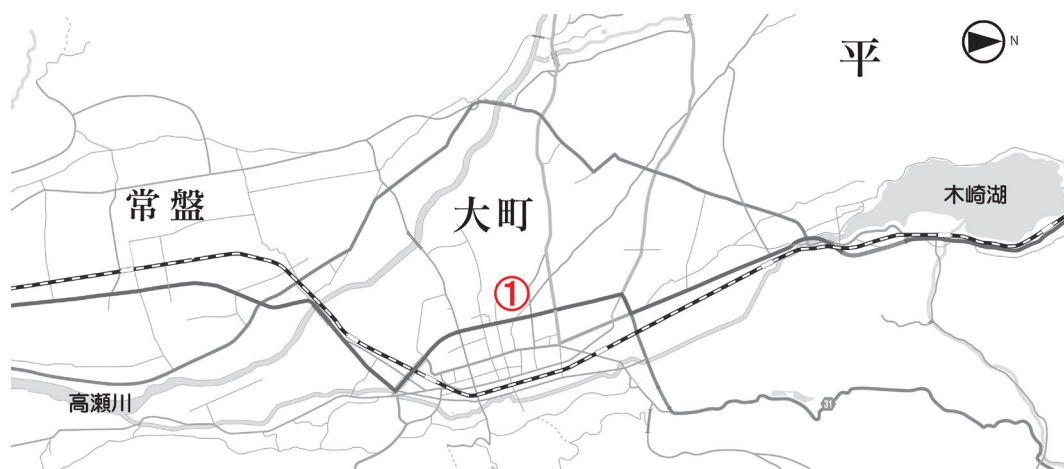
NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第1期	第2期
1	文化会館・大町公民館	電話設備改修工事 1,848	非常用自家発電装置改修 16,610	アンプ・モニター改修 小規模改修 4,300	特定天井改修 172,800 アンプ・モニター改修・舞台照明ハットLED化 2,980	大ホールLED化	アンプ・モニター改修、トイレ洋式化、空調設備修繕、舞台照明LED化	継続	継続
適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図るとともに、10年後に建築50年を迎えることから、大規模改修か建替えをするのか検討していく必要がある。また、当施設の原状や課題を踏まえ、今後、文化会館と公民館を切り離して運営していくことも検討が必要と考える。									

3 図書館

(1) 施設別状況

NO	施設名称・棟名称	延床面積	構造	建築年	耐震履歴	経過	劣化結果	4分類	担当課
1	大町図書館	1726.94	R C造	H11	不要	26	A	①	生涯学習課

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	大町図書館	・図書館サービスの充実と読書活動等の推進 ・誰もが利用しやすい生涯学習施設 ・子どもから大人までの読書活動の促進 ・読み聞かせ活動等多様な分野でのボランティア活動の推進 ・他の施設やボランティアとの連携による事業の充実

②施設の現状と課題

NO	施設名	施設の現状と課題
1	大町図書館	・平成11年10月の開館から20年以上が経過し、老朽化及び経年劣化による施設の傷み修繕箇所が増加傾向にあるが、当面の間は、不具合発生時の修繕で対応 ・将来的には改修等の工事が必要 ・機械設備関係に予期しない不具合が発生しており、今後、利用者の利便性を継続的に確保しつつ、各設備の状況を把握しながら計画的な修繕を実施

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況（人）				R6維持管理（千円）		利用者 1人 コスト	市民 1人 コスト
		指標	R4	R5	R6	歳入	歳出		
1	大町図書館	利用者数	61,518	68,999	67,425	423	27,711	404	1,070

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	第1期	第2期
1	大町図書館	電話機更新工事 1,500			照明器具改修 14,311			継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。運営方法の見直し（指定管理者導制度導入等）については、県内での指定管理者制度導入は、わずか1館であり、一旦導入したものの直営に戻した館も見られる。公共図書館の目的、役割、機能を踏まえ、ふさわしいあり方を引き続き調査研究していく。							

4 博物館等

(1) 施設別状況

No	施設名称・棟名称		延床面積(m ²)	構造	建築年	耐震履歴	経過	劣化結果	4分類	担当課
1	流鏑馬会館		158.1	W造	H12	不要	23	A	①	観光文化課
2	夏期大学	信濃講堂	456.18	W造	T6	未実施	108	B	②	生涯学習課
		資料館	474.26	W造	不明	未実施	-	A		
		便所	37.18	W造	不明	未実施	-	B		
3	旧中村家住宅	主屋(門口含む)	290.45	W造	元禄11(西暦1698)	未実施	326	B	②	
		土蔵	155.54	W造	安永9(西暦1780)	未実施	244	B		
		管理棟	33.92	W造	H10	不要	26	B		
4	文化財センター		734.26	S造	S45	未実施	54	B	②	
5	大町山岳博物館	本館	2207	S造	S57	実施済	43	B	②	山岳博物館
		資料館	117.45	S造	H24	不要	13	A		
		付属園管理棟	52	W造	H21	不要	16	A		
		鳥類舎	67.65	S造	H4	不要	33	B		
		イヌワシ舎	86.44	S造	H7	不要	30	C		
		新ライチョウ舎	146.16	W造	H30	不要	7	A		

延床面積合計 5,016.59 m²

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	流鏑馬会館	・伝統行事「流鏑馬」の神事と若一王子祭りに関する資料、流鏑馬衣装や馬具を一堂に展示する全国的にも特徴のある観光施設 ・観光客の市街地への誘導、街歩き促進を図るための施設としての役割 ・若一王子神社例大祭にまつわる歴史的にも貴重な品も展示しているほか、お祭りの様子を映像にて紹介
2	夏期大学	・建設された歴史的な意義を後世に伝承するとともに、地域の学びの場として、生涯学習社会の実現を図る。
3	旧中村家住宅	・重要文化財建造物の公開を通して、地域の歴史と民俗文化を学び体験する場
4	文化財センター	・大町市の歴史、民俗その他の資料の保管、展示及び調査研究 ・文化財保護の推進のため講座等の開催
5	大町山岳博物館	・昭和 28 年の 4 町村による大町市政施行前の、まだ戦後混乱期であった昭和 26 年 11 月、旧大町により開館 ・北アルプスの雄大な自然と、そこに育まれ生み出された人々の暮らしに焦点をあて、ライチョウやカモシカなど独創的な調査研究や教育普及を通じ、地域社会での教育文化の振興の拠点として、また一方で大町市の観光の拠点施設として活動を展開 ・平成 14 年には「山岳文化都市」を宣言し、山岳博物館が、山岳文化都市形成の拠点として、今後の生涯学習の推進の役割を担う施設としての役割

②施設の現状と課題

NO	施設名	施設の現状と課題
1	流鏑馬会館	・流鏑馬と夏祭りに関する資料、やぶさめの衣装や馬具を一堂に展示する施設であり、今後も観光の拠点として施設利用の促進を図る。 ・オープン以降 20 年余が経過することから、施設の長寿命化を図るために、必要な部分の修繕を行うなど適正な維持管理が必要
2	夏期大学	・建設の経緯や建物の文化財的な価値も考慮しながら、施設の適切な維持管理が必要

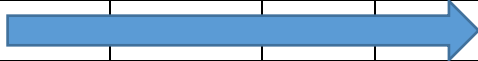
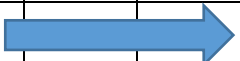
3	旧中村家住宅	- 平成 18 年度の市村合併以来、重要文化財の公開事業を受け継いでいる。 - 地域の重要文化財建造物の公開を通して、地域の文化と民俗にふれる場を確保するとともに、観光資源として地域振興の一助となっている。 - 入館者数は年 400 名前後でやや減少傾向で推移 - 市街地から離れた、江戸時代の山村の民家であり、城郭や寺社などと違って話題性を持つものではないため、入館者の増加はなかなか見込めないが、当時の農村の人々の生活や習俗、更には地域の歴史、文化を直接、体感することができる大変貴重な建物であることから、地域の貴重な文化財として適切に管理するとともに、活用策についても検討している。令和 6 年度は北アルプス国際芸術祭のアートサイトとして作品の展示を行い、大勢の方に来場いただいた。今後もアートサイト等での活用を検討し、入館者の増につなげたい。 - 令和 7 年 3 月に主屋西側屋根が積雪と降雨のため脱落した。文化庁・文化財建造物保存技術協会の現地調査を受けて、全体的な屋根の葺き替え時期が来ていることから、脱落部分を含めた主屋屋根全体の葺き替え工事等を行うこととしている。令和 8 年度に基本設計、令和 9 年度に実施設計・屋根葺き替え工事、10 年度に屋根葺き替え工事・その他工事を行う計画で、国等へ要望している。
4	文化財センター	- 出土品や文化財の保管施設として、必要な施設であるが、老朽化し耐震基準に適合していないため、移転について検討が必要 - 小学校校舎へ移転を検討しているが、校舎の除却予定と国スポの事務局利用があるため、実際の移転は国スポ終了後になる可能性がある。(令和 12 年度以降)
5	大町山岳博物館	- 昭和 26 年に誕生以来、過去 3 回の移転建替を行い、現在の博物館は昭和 57 年に現在地に建設された。 - 平成 25 年度に耐震改修工事を実施しており、平成 26 年度には常設展の展示替えを実施。令和元年度には、講堂や企画展示室などの床の張替、令和 5 年に約 20 年ぶりとなる本館屋根及び外壁の塗装修繕などを実施 - 今後の修繕予定は、照明器具 L E D 化のほか、暖房施設の重油ボイラーが使用できなくなったことにより、令和 7 年度に空調設備改修工事を予定。 - 博物館裏に展開している付属園の動物舎が、概ね昭和 57 年に博物館を建設当時のものが改修されないまま現在も使用しており、今後整備構想を策定し、施設整備の充実を検討する。

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況 (人)				R 6 維持管理 (千円)		利用者 1 人コスト (円)	市民 1 人コスト (円)
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		
1	流鏑馬会館	利用者数	3,295	3,908	14,093	0	4,013	285	160
2	夏期大学	利用者数	1,106	1,529	2,013	—	—	—	—
3	旧中村家住宅	利用者数	504	462	342	177	4,441	12,467	170
4	文化財センター	利用者数	243	360	365	0	1,575	4,437	63
5	大町山岳博物館	利用者数	21,307	20,760	24,649	9,520	24,905	624.2	611.7

※R6 旧中村家住宅の国際芸術祭アートサイト利用者数は 7,792 人

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第1期	第2期
1	流鏑馬会館	見学施設としての役割に加え、貴重な流鏑馬衣装の保管も行っていることから、引き続き適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、当施設の原状や課題を踏まえ、利用者の増加に努める。						継続	継続
2	夏期大学	あり方検討						継続	継続
3	旧中村家住宅	主屋屋根葺き替え基本設計						継続	継続
		屋根脱落部分を含めて主屋屋根の全体的な保存修理工事を実施する。							
4	文化財センター	出土品等の整理整頓						継続	移転
		移転先の検討							
		出土品等の保管場所の検討							
		出土品他文化財の保管場所として必要な施設であるが、老朽化し、耐震基準に適合していないため、移転先の選定と整備内容の検討が必要。							
5	大町山岳博物館	エレベーター改修 19,140		屋根・壁面改修 26,752		本館空調設備改修 152,000		継続	継続
							常設展示替構想		
							照明LED化		
		適切な維持管理、ライフサイクルコストの縮減、計画的な予防保全措置等を行い、施設の長寿命化を図る。 付属園整備計画については費用対効果、動物飼育環境のあり方など再検討すべき事項があることから一旦保留とする。							

5 スポーツ施設

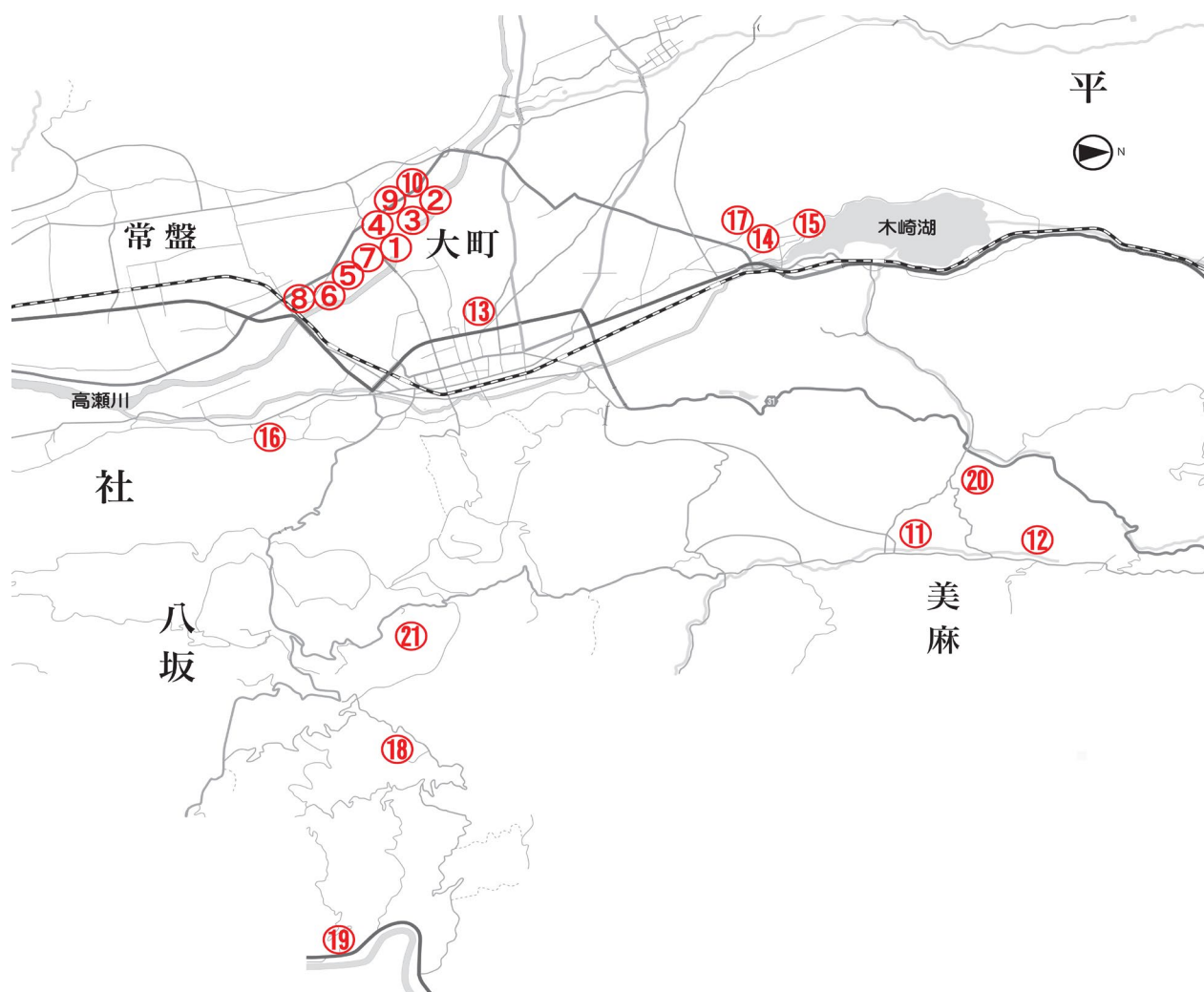
(1) 施設別状況

NO	施設名称・棟名称		延床面積 (㎡)	構造	建築年	耐震履歴	経過	劣化結果	4分類	避難所	担当課
1	運動公園総合体育館		4,863.01	R C造	S 63	実施済	36	B	①		スポーツ課
2	弓道場	近的射場	129.6	S造	S 62	不要	38	A	②		
		更衣室	81.15	W造	S 62	不要	38	A			
3	テニスコート更衣室		66.25	W造	S 62	不要	38	A	②		
4	第一屋内運動場		987.13	S造	H 6	不要	30	A	①		
5	第二屋内運動場		1,997.58	R C造	H 29	不要	7	A	①		
6	野球場スタンド		704.09	R C造	S 61	不要	39	B	①		

7	体育研修センター		796.22	R C 造	S 50	未実施	50	B	④	
8	運動公園 トイレ	中央	59.62	木造	H23	不要	14	A	①	
		多目的広場北側	41.4	木造	H22	不要	15	A		
		体育研修センター	23.1	R C 造	H15	不要	21	A		
9	二重屋内ゲートボール場		635	S 造	H4	不要	33	A	③	
10	美麻トレーニングセンター		650	S 造	S 56	未実施	43	A	②	
11	西公園体育館	体育館	957.38	W 造	S 42	未実施	58	B	②	
		付属建物	132.5	W 造	S 45	未実施	54	A		
12	B & G 海洋 センター 体育館	第一体育館	747.3	R C 造	S 54	実施済	46	A	②	
		第二体育館	524.7	R C 造	S 54	実施済	46	A		
		事務棟	355.7	R C 造	S 57	不要	43	A		
13	B & G 海洋センター艇庫		450	S 造	S 54	未実施	45	A	②	
14	やしろ体育館		594	S 造	H6	不要	30	A	③	
15	平運動場公衆トイレ		49.5	R C 造	H12	不要	24	A	①	
16	八坂トレーニングセンター		1,703	S R C 造	H18	不要	18	A	③	
17	八坂ゲートボール場		584.73	W 造	H5	不要	32	A	③	
18	ミーティングハウス (美麻)		59.13	C B 造	S 63	不要	36	A	③	
19	八坂運動場管理棟		59	W 造	不明	不要	-	A	④	
20	スケートボードパーク		840.0	R C 造	H13	不要	24		①	

延床面積合計 18,091.09 m²

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	運動公園 総合体育館	- 市民をはじめ、各種屋内競技団体等における地区大会、県大会、全国大会等の開催や誘致における大北管内の主会場となるスポーツ施設 - 令和 10 年開催の長野国民スポーツ大会成年男子バレーボール会場として使用する予定
2	陸上競技場 スタンド	- 大北唯一の陸上競技場で、大北地域における中核的なスポーツ施設。 - フィールド内は天然芝となっており、サッカー競技に利用 - 令和 10 年開催の長野国民スポーツ大会少年女子サッカー会場として使用する予定
3	サッカー場 スタンド	- 長野県内でも数少ない天然芝のサッカー場 - 長野県のみならず、サッカー競技者の重要な活動場所 - 令和 10 年開催の長野国民スポーツ大会サッカー少年女子会場として使用する予定
4	弓道場	市内唯一の施設であるとともに、遠的種目も併設されているなど、弓道競技者の練習及び大会開催に必要な施設

5	テニスコート 更衣室	・テニスコートに隣接する更衣室及びトイレ施設であるとともに、周辺にあるクライミング施設の利用者やマレットゴルフ場利用者なども利用されている施設
6	第一屋内運動場	・雨天時及び冬期間の運動施設としての利用率が高く、特に冬期間については多くの個人・団体で利用 ・降雪により、外の施設が利用できなくなる競技種目の方々にとっては、非常に重要な施設
7	第二屋内運動場	・外施設での競技種目を中心とした雨天時の利用と、降雪により利用できなくなる冬期間の個人・団体利用者にとっては、通年を通して活動できる施設として、非常に重要な施設
8	野球場スタンド	・公式戦が行える野球場で、特に中学や高校野球の県予選会などに利用 ・夏には合宿として県外から利用申込みがあり、地域振興の側面でも重要な施設
9	倉庫(旧体育研修センター)	・令和6年度で用途廃止 ・用途廃止後はアルプスマラソンの備品倉庫として転用
10	運動公園トイレ	・運動公園利用者のための公衆トイレ
11	二重屋内 ゲートボール場	・美麻地区のゲートボール競技施設 ・屋内施設であることから降雪期間でも利用可能 ・1年を通じて利用でき、健康増進に繋がる施設
12	美麻トレーニングセンター	・美麻地区の方々の運動拠点施設 ・屋外スポーツ競技者にとっては、降雪等により活動が制限される冬期間もトレーニングできる施設
13	西公園体育館	・市街地から近いなどの理由により、利便性が高いが耐震性能無し。 ・主に、市内中学や高校の部活動での利用施設。
14	B & G 海洋センター体育館	・市内北部にある体育館施設として利用 ・第二体育室(柔剣道場)は、柔道等の常設競技場所として利用
15	B & G 海洋センター艇庫	・大北地域唯一の公共施設によるカヌーやヨットなど海洋性スポーツが行える施設 ・B & G 海洋センターとして公認インストラクターが指導
16	社体育館	・地元の山下自治会から、市が移譲を受けた施設 ・社地区の方々が利用しやすい体育施設
17	平運動場公衆トイレ	・平運動場及び平野球場利用者等のトイレ
18	八坂トレーニングセンター	・八坂地区の方々の運動拠点施設 ・屋外スポーツ競技者にとっては、降雪等により活動が制限される冬期間もトレーニングできる施設
19	八坂ゲートボール場	・八坂地区唯一の屋内ゲートボール場 ・ゲートボール愛好者が年間を通して利用できる施設
20	ミーティングハウス	・美麻運動場に隣接しており、大会等本部に活用
21	八坂運動場管理棟	・八坂運動場に隣接された管理棟兼倉庫
22	スケートボードパーク	・市内唯一のスケートボード場として活用

②施設の現状と課題

NO	施設名	施設の現状と課題
1	運動公園総合体育館	・昭和63年の建設以降大規模改修を行っていないため、大小アリーナの床の傷が増えているなどメンテナンスが必要 ・照明は、現段階で改修する必要はないが、メタルハライドランプを使用しているため、今後LED照明への改修が必要 ・令和10年開催の長野国民スポーツ大会に向けた改修が必要
2	陸上競技場スタンド	・スタンドや更衣室、トイレ等においても建設当時のままであり改修等が必要 ・令和10年開催の長野国民スポーツ大会に向けて改修中
3	サッカー場スタンド	・昭和62年の建設以降大規模改修を行っていない。特に更衣室や役員室、選手用トイレなどは改修が必要 ・令和10年開催の長野国民スポーツ大会に向けて改修中

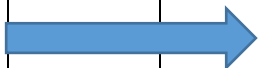
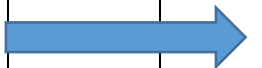
4	弓道場	・松林に囲まれているため、松脂などの影響により屋根塗装の劣化が早い。定期的な屋根塗装が必要
5	テニスコート更衣室	・老朽化が顕著であり、長寿命化を図るための修繕が必要
6	第一屋内運動場	・平成6年の建設以降大規模改修を行っていないため、電気系統に不具合が頻発している。併せて砂入れ人工芝も改修が必要 ・照明施設に不具合が頻発している。水銀灯を使用していることから、今後LED照明への改修が必要
7	第二屋内運動場	・砂入り人工芝の屋内運動場。利用後のコート整備（ブラシ掛け）を行うと砂ぼこりが空中浮遊してしまう状況であり、現状は、1日の最終利用者のみ整備を行うこととして運用している。より適切な整備方法を検討し、利用者に周知していくことが必要
8	野球場スタンド	・昭和61年に建設された施設で、老朽化が進んでいる。トイレも当時のままであり、関係団体等からの改修要望はあるが、施設自体の年間総稼働日数は少ない。
9	倉庫（旧体育研修センター）	・平成29年度までは体育研修センター内に体育協会事務局があったが、同年に第二屋内運動場に移転 ・施設は老朽化しており、転用や廃止について検討が必要
10	運動公園トイレ	・冬期間は凍結するため、利用の少ない施設は閉鎖している。
11	二重屋内ゲートボール場	・令和6年度は一時的に芸術祭で使用されたが、それ以外の期間において一般の施設利用はほぼ無いのが現状
12	美麻トレーニングセンター	・施設利用者は地元住民のみ。
13	西公園体育館	・好立地により、市内中学や高校の部活動で利用されるほか利用者は多いが、老朽化が進んでいる。
14	B & G 海洋センター 体育館	・耐震改修工事を実施しているが老朽化も進んでいる、特にトイレなど水回りについては改修等が必要 ・体育館出入口付近の駐車場では、長年にわたる地盤沈下により降雨時には水溜まりができるため改修が必要
15	B & G 海洋センター 艇庫	・公共施設での海洋性スポーツができる唯一の施設 ・海洋性スポーツは危険が伴うため、動力付きボート（救助艇）を配備し、最大限の安全に配慮し活動している。公認インストラクター不在での一般開放ができない。
16	社体育館	・平成29年度に地元の山下自治会から、市が移譲を受けた施設
17	平運動場公衆トイレ	・凍結のため、冬期間は施設を閉鎖
18	八坂トレーニングセンター	・主に八坂地区の住民が利用している。 ・市街地から距離がありアクセスが悪いため、八坂地区以外の住民には利用されにくい。 ・交通事情としても途中から大型バスの通行ができないため、合宿等の誘致も難しい。
19	八坂ゲートボール場	・八坂地区一部の方々が主に利用しているほかは、利用が少ない状況
20	ミーティングハウス	・利用実績がほとんどない状況
21	八坂運動場管理棟	・利用実績がほとんどない状況
22	スケートボードパーク	・スケートボードの普及とともに若年層の利用率が向上

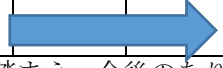
（４）施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況（人）				R6維持管理（千円）		利用者1人コスト（円）	市民1人コスト（円）
		指標	R4	R5	R6	歳入	歳出		
1	運動公園総合体育館	利用者数	40,147	49,060	47,588	3,380	7,362	210	397
2	陸上競技場スタンド	利用者数	11,920	12,424	10,333	956	1,904	92	38
3	サッカー場スタンド	利用者数	6,314	9,242	6,388	805	1,257	71	18
4	弓道場	利用者数	2,997	3,636	4,027	94	1,394	323	52
5	テニスコート更衣室	—	—	—	—	279	1,605	—	53
6	第一屋内運動場	利用者数	8,921	9,614	8,355	230	1,869	196	65
7	第二屋内運動場	利用者数	24,630	27,764	29,171	866	2,409	53	61

8	野球場スタンド	利用者数	3,081	3,416	4,137	745	1,142	96	16
9	倉庫（旧体育研修センター）	利用者数	1,246	636	192	3	992	5,151	39
10	運動公園トイレ	-	-	-	-	0	1,657	-	66
11	二重屋内ゲートボール場	利用者数	48	245	-	0	203	-	8
12	美麻トレーニングセンター	利用者数	851	1169	1,409	455	1,100	458	26
13	西公園体育館	利用者数	9,522	10,912	11,240	238	1,209	86	39
14	B & G海洋センター体育館	利用者数	13,823	10,740	12,898	368	1,149	61	31
15	B & G海洋センター艇庫	利用者数	651	936	801	167	875	884	28
16	社体育館	利用者数	2,527	2,524	1,956	79	924	432	34
17	平運動場公衆トイレ	-	-	-	-	0	863	-	34
18	八坂トレーニングセンター	利用者数	2,069	898	903	47	1,382	1,478	53
19	八坂ゲートボール場	利用者数	48	80	-	0	763	-	30
20	ミーティングハウス	利用者数	-	-	-	0	821	-	33
21	八坂運動場管理棟	利用者数	-	40	4	0	1,323	330,750	53
22	スケートボードパーク	利用者数	-	-	-	0	0	-	-

（５）施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第 1 期	第 2 期
1	運動公園総合体育館	大規模改修の内容検討					LED照明改修・床面改修	継続	継続
		適切な維持管理、ライフサイクルコストの縮減、計画的な予防保全措置等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、運営方法の見直し（指定管理制度導入等）について検討する。							
2	陸上競技場スタンド	国スポに向けた施設整備の検討			解体	管理棟設置		廃止	廃止
		既存施設を解体し、新たに管理棟を新設。							
3	サッカー場スタンド	国スポに向けた施設整備の検討			解体	管理棟設置		廃止	廃止
		既存施設を解体し、新たに管理棟を新設。							
4	弓道場							継続	継続
		利用者の増加に努めるとともに、適切な維持管理を行い、施設の安全性の確保、長寿命化を図る。							
5	テニスコート更衣室							継続	継続
		適切な維持管理を行い、施設の安全性の確保、長寿命化を図る。							
6	第一屋内運動場				LED照明改修			継続	継続
		適切な維持管理を行い、施設の安全性の確保、長寿命化を図る。							
7	第二屋内運動場							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
8	野球場スタンド							継続	継続
		適切な維持管理を行い、施設の安全性の確保、長寿命化を図る。							
9	倉庫（旧体育研修センター）	用途廃止へ向けた検討				転用（倉庫）		継続	廃止
		体育研修センターとしての用途を廃止済。倉庫として活用している。施設の安全確保など検討する。							
10	運動公園トイレ							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。体育研修センター北側トイレは、体育研修センター廃止に伴う施設のあり方等について検討する。							

11	二重屋内ゲートボール場					統合・転用等の検討		継続	廃止
		当施設の現状や課題を踏まえ、建て替え、大規模改修等を行わないことを基本的な考え方として、統合・転用等について検討する。							
12	美麻トレーニングセンター							継続	継続
		適切な維持管理等を行うこととしつつも、建替えや大規模改修等を行わないことを基本的な考え方として、廃止や転用等の時期について検討する。							
13	西公園体育館					廃止時期の検討		廃止	廃止
		適切な維持管理等を行うこととしつつも、耐震性能に留意し、利用者等の安全面を確保して使用する。また、建替えや大規模改修等を行わないことを基本的な考え方として、廃止等の時期について検討する。							
14	B & G 海洋センター体育館			LED照明改修 9,000				継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の安全面の確保、長寿命化を図る。							
15	B & G 海洋センター艇庫					耐震調査		継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、当施設の現状や課題を踏まえ、運営方法の見直しについて検討する。							
16	社体育館							継続	継続
		当施設の現状や課題を踏まえ、建て替え、大規模改修等を行わないことを基本的な考え方として、今後のあり方等について検討する。							
17	平運動場公衆トイレ							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
18	八坂トレーニングセンター		今後の活用又は廃止等の検討					継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図っていくこととしつつも、当施設の現状や課題を踏まえ、転用・廃止等について検討する。							
19	八坂ゲートボール場		今後のあり方検討				廃止	廃止	廃止
		当施設の現状や課題を踏まえ、今後のあり方等を検討する。							
20	ミーティングハウス		廃止を含めた今後のあり方検討					継続	継続
		建替えを行わないことを基本的な考え方とし、適正な維持管理を行うとともに、当施設の現状や課題を踏まえ、今後の施設のあり方等を検討する。							
21	八坂運動場管理棟		今後のあり方検討					継続	継続
		当施設の現状や課題を踏まえ、今後のあり方等を検討する。							
22	スケートボードパーク		今後のあり方検討					継続	継続
		利用者等と意見交換を行うなかで今後の課題を確認し、安全管理及び施設の維持管理に努めていく。							

6 学校

(1) 施設別状況

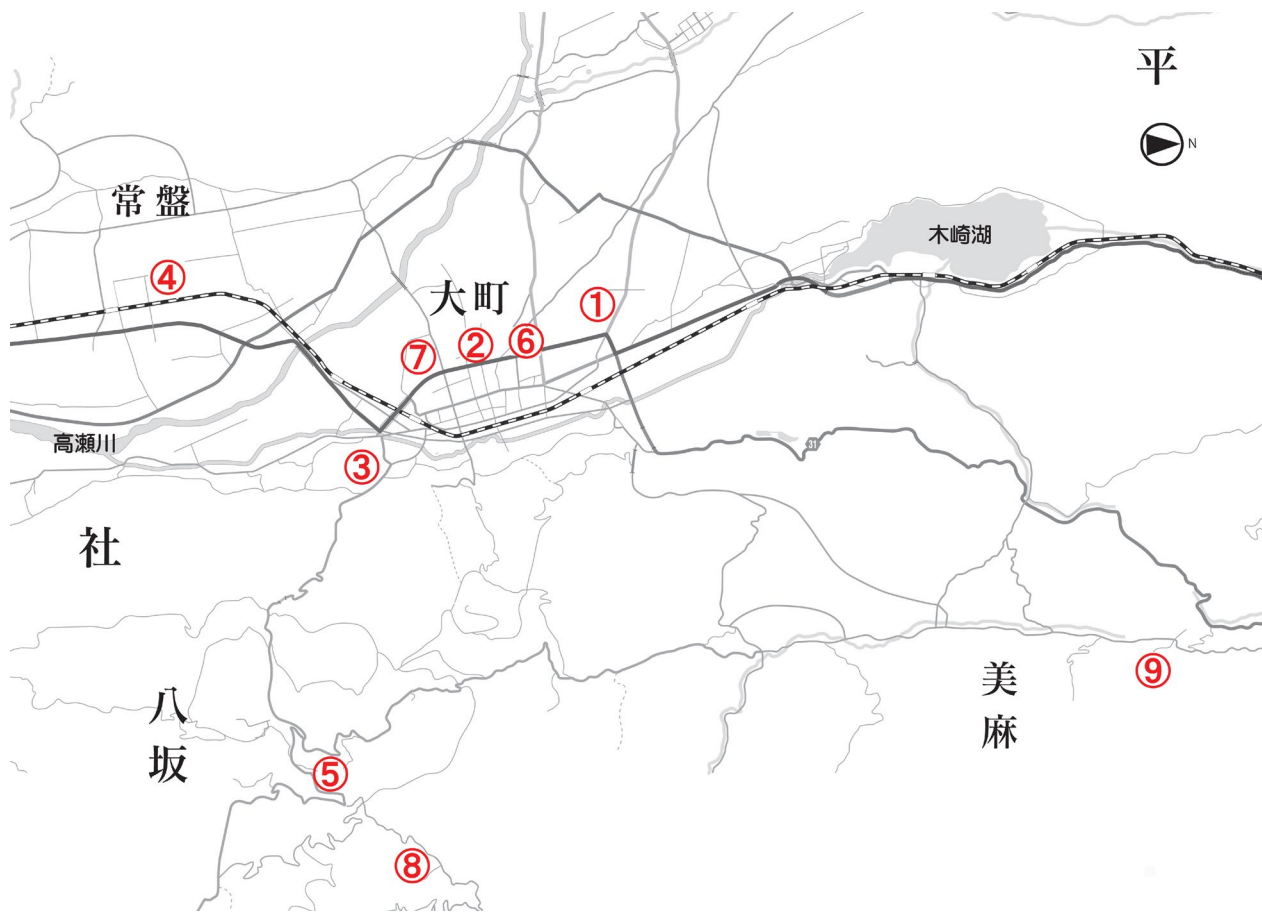
No	施設名称・棟名称		延床面積 (㎡)	構造	建 築 年	耐震 履歴	経 過	劣化 結果	4 分類	避 難 所	担 当 課
1	北小学校	特別教室棟	1,177	R C造	S52	実施済	48	B	②		学校教育課
		昇降口	635	R C造	S52	実施済	48	B			
		高学年棟	3,145	R C造	S58	不要	41	B			
		低学年棟	1,468	R C造	S52	実施済	47	B			
		廊下	129	S造	S56	不要	43	B			
		体育館	982	R C造	S52	実施済	47	B			
		給食棟	270	R C造	S56	不要	43	B			
		プール付属	77	S造	S52	実施済	47	D			
		倉庫	92	R C造	S52	実施済	47	B			
		倉庫	91	S造	S60	不要	39	B			
		便所	17.39	W造	H29	不要	8	A			
2	西小学校	普通教室棟	668	R C造	S44	実施済	56	B	②		
		普通教室棟	2,365	R C造	S57	不要	42	C			
		特別教室棟	708	R C造	S57	不要	43	B			
		廊下	203	S造	S44	実施済	56	C			
		管理棟	1,917	R C造	S58	不要	42	C			
		給食棟	308	R C造	S58	不要	41	B			
		プレイルーム	451	R C造	S57	不要	43	B			
		倉庫	112	S造	S57	不要	42	B			
		プール付属	101	S造	S59	不要	41	B			
		倉庫	62	S造	H6	不要	31	B			
		普通教室棟	854	R C造	S45	実施済	55	B			
		体育館	1,486	R C造	H6	不要	31	A			
3	東小学校	低学年棟	1,152	R C造	S54	実施済	46	A	②		学校教育課
		高学年南棟	1,566	R C造	S55	実施済	45	A			
		管理棟、昇降口	1,476	R C造	S55	実施済	45	A			
		高学年北棟、特別教室棟	1,476	R C造	S55	実施済	45	A			
		体育館	1,003	R C造	S55	実施済	45	A			
		給食棟	315	R C造	S56	実施済	44	A			
		廊下	100	S造	S56	実施済	44	A			
		プール付属	89	S造	S56	不要	43	C			
		倉庫他	174	S造	S56	不要	43	C			
4	南小学校	校舎（管・特）	1,644	R C造	S60	不要	39	C	②		
		北校舎（特）	734	R C造	S60	不要	39	C			
		普通教室棟（低学年）校舎	523	R C造	S51	実施済	49	C			
		普通教室棟（低学年）	528.26	R C造	S60	不要	40	C			
		普通教室棟（高学年）	1,967.59	R C造	S60	不要	40	C			
		体育館	1,247	R C造	S61	不要	38	C			
		廊下	211	R C造	S60	不要	39	B			
		倉庫	80	S造	H17	不要	19	A			
		給食棟	294	R C造	S60	不要	39	B			
		プール付属棟	81	S造	S54	未実施	45	B			
5	八坂小中前期	校舎（普通・特別教室棟）	1,110	R C造	S63	不要	37	A	②		
		校舎（昇降口棟）	189.76	R C造	S63	不要	37	A			
		校舎（管理・特別教室棟）	1,304	R C造	S63	不要	37	A			
		校舎(ボランティアルーム)	24.0	R C造	H3	不要	33	A			
		倉庫	10.21	R C造	S63	不要	37	A			
		車庫	61.18	S造	S63	不要	37	A			



		体育館、クラブハウス	1,227	R C造	S 63	不要	36	A			
		プール棟更衣室	51	R C造	S 63	不要	36	A			
		プール棟機械室	54	R C造	S 63	不要	36	A			
		校庭便所、倉庫	40	R C造	S 63	不要	36	A			
		ランチルーム	150	R C造	S 63	不要	37	A			
		給食室	216	R C造	S 63	不要	37	A			
		プール棟機械室	12.25	R C造	S 63	不要	37	A			
6	旧第一中学校	プール付属棟(更衣室・倉庫)	29.81	W造	H8	不要	29	A	①		
		普通教室棟	2,847.32	R C造	H17	不要	19	A			
		管理・特別教室棟	3,552.79	R C造	H17	不要	19	A			
		厨房棟	486.68	S造	H18	不要	19	A			
		ランチルーム棟	221.28	R C造	H18	不要	19	A			
		体育館	2,258.6	S R C造	H18	不要	19	A			
		外便所・自転車置場	180	W造	H18	不要	18	A			
		作業所及び倉庫	69.56	W造	H18	不要	18	A			
		温室	20.11	R C造	H18	不要	18	A			
7	大町中学校	普通教室・管理棟	3,884.75	R C造	H21	不要	15	A	①		
		管理・特別教室棟	3,079.41	R C造	H21	不要	15	A			
		体育館	2,511.85	R C造	H21	不要	15	A			
		給食棟	350.41	R C造	H21	不要	15	A			
		外倉庫	20.00	R C造	H21	不要	15	A			
		駐輪場	168	S造	H22	不要	15	A			
		部室棟	54	R C造	H22	不要	15	A			
8	八坂小中後期	アレルギー対策室	8.04	R C造	R4	不要	2	A	①		
		管理・教室棟	1,139	R C造	H11	不要	26	A			
		管理・教室棟	997	R C造	H11	不要	25	A			
		体育館	1,198	R C造	H10	不要	27	A			
		プール付属棟	70.5	S造	H10	不要	27	A			
9	美麻小中学校	校庭内便所	9.15	W造	H14	不要	22	A	②		
		校舎	3,193	R C造	S 50	実施済	49	B			
		体育館	1,227	S造	S 52	実施済	48	A			
		食堂・厨房	379	R C造	S 50	実施済	49	A			
		スキー乾燥室	59	S造	S 52	実施済	48	C			
		プール機械室	61.86	S造	S 52	実施済	47	B			
		プール更衣室	63.51	S造	S 52	実施済	47	B			
		車庫	72	S造	S 51	実施済	49	A			
		倉庫	31.24	S造	H28	不要	9	A			

延床面積合計 64,571.95 m²

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	北小学校	・教育施設 ・災害時避難施設 ・地域コミュニティ施設
2	西小学校	
3	東小学校	
4	南小学校	
5	八坂小中学校 前期課程	
6	旧第一中学校	
7	大町中学校	
8	八坂小中学校 後期課程	
9	美麻小中学校	

②施設の現状と課題

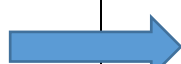
NO	施設名	施設の現状と課題
1	北小学校	・建設から 48 年が経過し、設備等の老朽化が進んでいるため、多額の修繕費や設備更新経費を要している。 ・少子化に伴う児童数の減少による空き教室等の余剰施設がある状況 ・コミュニティ・スクールとして、地域とともに育む学校として運営 ・令和 4 年度における学校再編事業により、大町地区・平地区の新しい小学校として旧第一中学校を改修して使用することが決定したため、令和 7 年度末で閉校予定 ・令和 7 年度末の閉校までは学校運営上、支障のある場合を除いて、規模の大きい修繕は行わない。
2	西小学校	・建設から 56 年が経過し、設備等の老朽化が進んでいるため多額の修繕費や設備更新経費を要している。 ・少子化に伴う児童数の減少による空き教室等の余剰施設がある状況 ・コミュニティ・スクールとして、地域とともに育む学校として運営

		・令和４年度における学校再編事業により、大町地区・平地区の新しい小学校として旧第一中学校を改修して使用することが決定したため、令和７年度末で閉校予定 ・令和７年度末の閉校までは学校運営上、支障のある場合を除いて、規模の大きい修繕は行わない。
3	東小学校	・建設から４６年が経過し、設備等の老朽化が進んでいるため多額の修繕費や設備更新経費を要している。 ・少子化に伴う児童数の減少による空き教室等の余剰施設がある状況 ・コミュニティ・スクールとして、地域とともに育む学校として運営 ・令和４年度における学校再編事業により、社地区・常盤地区の新しい小学校として現大町南小学校を改修して使用することが決定したため、令和７年度末で閉校予定 ・令和７年度末の閉校までは学校運営上、支障のある場合を除いて、規模の大きい修繕は行わない。
4	南小学校	・設備等の老朽化が進んでいるため多額の修繕費や設備更新経費を要している。 ・少子化に伴う児童数の減少による空き教室等の余剰施設がある状況 ・コミュニティ・スクールとして、地域とともに育む学校として運営 ・令和４年度の学校再編事業により、社地区・常盤地区の新しい小学校として現大町南小学校を改修して使用することが決定したため、令和６年度に校舎の劣化度調査を行い、開校後に校舎の改修規模、改修方法及び実施時期について、適切な時期に校舎改修の基本設計に着手し、今後の改修計画について検討を進める。 ・令和８年４月開校に向け、令和７年度にトイレの洋式化、体育館照明 LED 化及び床改修を実施予定。
5	八坂小中前期	・建設から３７年が経過し、設備等の老朽化が進んでいるため多額の修繕費や設備更新経費を要している。 ・少子化に伴う児童数の減少による空き教室等の余剰施設がある状況 ・コミュニティ・スクールとして、地域とともに育む学校として運営 ・当面、現状を維持することとし、施設の長寿命化を図るとともに、社会情勢や時代のニーズに応じた教育環境の整備が必要 ・令和６年度に校舎全体の LED 化を実施
6	旧第一中学校	・中学校の再編により令和５年３月末をもって閉校 ・小学校の再編により、令和８年４月から大町地区と平地区の児童が通う「大町北部小学校」として使用する事が決定しており、開校までの令和６年、７年において大規模改修を実施する予定 ・上記の大規模改修に合わせて LED 化を実施予定
7	大町中学校	・少子化に伴う生徒数の減少による空き教室等の余剰施設がある状況 ・コミュニティ・スクールとして、地域とともに育む学校として運営 ・中学校の再編により、旧第一中学校と旧仁科台中学校を統合して、令和５年４月より新しく「大町中学校」として開校 ・令和４年度に中学校の統合に合わせて、空き教室等を特別支援教室やトイレへ改修するなど大規模改修を実施 ・令和６年度に校舎全体の LED 化を実施
8	八坂小中後期	・少子化に伴う生徒数の減少による空き教室等の余剰施設がある状況 ・コミュニティ・スクールとして、地域とともに育む学校として運営 ・当面、現状を維持することとし、施設の長寿命化を図るとともに、社会情勢や時代のニーズに応じた教育環境の整備が必要 ・令和６年度に校舎全体の LED 化を実施
9	美麻小中学校	・建設から４９年が経過し、設備等の老朽化が進んでいるため多額の修繕費や設備更新経費を要している。 ・コミュニティ・スクールとして、地域とともに育む学校として運営 ・当面、現状を維持することとし、施設の長寿命化を図るとともに、社会情勢や時代のニーズに応じた教育環境の整備が必要 ・令和６年度に校舎全体の LED 化を実施

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況（人）				R 6 維持管理（千円）		児童等 1 人コスト（円）	市民 1 人コスト（円）
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		
1	北小学校	児童数	252	245	238	0	15,979	67,139	635
2	西小学校	児童数	262	258	250	0	18,578	74,312	739
3	東小学校	児童数	136	131	117	60	17,937	152,795	711
4	南小学校	児童数	266	242	230	0	18,924	82,278	752
5	八坂小中学校 前期課程	児童数	47	52	49	0	10,292	210,041	409
6	旧第一中学校	生徒数	199	—	—	0	5,252	—	209
7	大町中学校	生徒数	333	500	476	0	19,805	41,607	787
8	八坂小中学校後期課程	生徒数	21	15	17	0	8,691	511,235	346
9	美麻小中学校	児童・生徒数	98	98	98	0	14,648	146,469	582

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性		
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第 1 期	第 2 期	
1	北小学校	統廃合の検討、維持管理等の実施						廃止	統合	廃止
		閉校までの間は、適切な施設の維持管理等を行い、社会情勢や時代のニーズに応じた教育環境の整備を進める。今後策定予定の小学校跡地利用基本方針に基づき閉校後の利活用について検討する。								
2	西小学校	統廃合の検討、維持管理等の実施						廃止	統合	廃止
		閉校までの間は、適切な施設の維持管理等を行い、社会情勢や時代のニーズに応じた教育環境の整備を進める。今後策定予定の小学校跡地利用基本方針に基づき、閉校後の利活用について検討する。								
3	東小学校	統廃合の検討、維持管理等の実施						廃止	統合	廃止
		閉校までの間は、適切な施設の維持管理等を行い、社会情勢や時代のニーズに応じた教育環境の整備を進める。今後策定予定の小学校跡地利用基本方針に基づき、閉校後の利活用について検討する。								
4	南小学校	統廃合の検討、維持管理等の実施			劣化度調査 11, 220	トイレ洋式化 66, 000 体育館照明 LED 化・ 床改修 15, 069	開校	統合	継続	
		小学校の統合により令和 8 年度から社地区と常盤地区の児童が通う「大町南部小学校」となることから、令和 6 年度に劣化度調査、令和 7 年度にトイレ洋式化、体育館照明 LED 化及び床改修を行い、開校後に校舎の改修規模、改修方法及び実施時期について、適切な時期に校舎改修の基本設計に着手し、今後の改修計画について検討を進める。								
5	八坂小中学校前期課程	義務教育学校化準備			LED リース	維持管理等の実施		継続	継続	
		・適切な施設の維持管理等を行い、社会情勢や時代のニーズに応じた教育環境の整備を進める。 ・令和 6 年度に校舎全体の照明設備の LED 化をリース方式で実施。 ・施設の老朽化については、計画的な設備等の更新を進める。								
6	旧第一中学校	統廃合の検討、維持管理等の実施	閉校	北部小実施設計 33, 000	大規模改修工事 402, 400	大規模改修工事 753, 600	開校	統合	継続	
		小学校の統合により令和 8 年度から大町地区と平地区の児童が通う「大町北部小学校」となることから、令和 5 年度に実施設計を行い、令和 6 年から 7 年度にかけて大規模改修工事を実施する								

7	大町中学校	中学校統合に伴う実施設計	495	大規模改修工事	108,803	LED リース			廃合	継続
		- 適切な施設の維持管理等を行い、社会情勢や時代のニーズに応じた教育環境の整備を進める。 - 令和6年度に校舎全体の照明設備のLED化をリース方式で実施。 - 施設の老朽化については、計画的な設備等の更新を進める								
8	八坂小中学校後期課程	義務教育学校化準備				LED リース			継続	継続
		- 適切な施設の維持管理等を行い、社会情勢や時代のニーズに応じた教育環境の整備を進める。 - 令和6年度に校舎全体の照明設備のLED化をリース方式で実施。 - 施設の老朽化については、計画的な設備等の更新を進める								
9	美麻小中学校	維持管理等の実施				LED リース 仮設特別教室等を実施			継続	継続
		- 適切な施設の維持管理等を行い、社会情勢や時代のニーズに応じた教育環境の整備を進める。 - 令和6年度に校舎全体の照明設備のLED化をリース方式で実施。 - 小規模特認校により、美麻小中学校への通学希望者が年々増加しており、特別支援教育を必要とする児童生徒の教室が少なく、仮設の特別支援教室棟を設置して対応 - 施設の老朽化については、計画的な設備等の更新を進める								
学校体育館は児童・生徒の使用のみならず、社会体育施設として地域の皆さんも使用している。加えて、防災上の指定避難施設ともなっており、夏場の熱中症対策や新型コロナウイルス感染症対策として空調設備を整備する必要がある。										

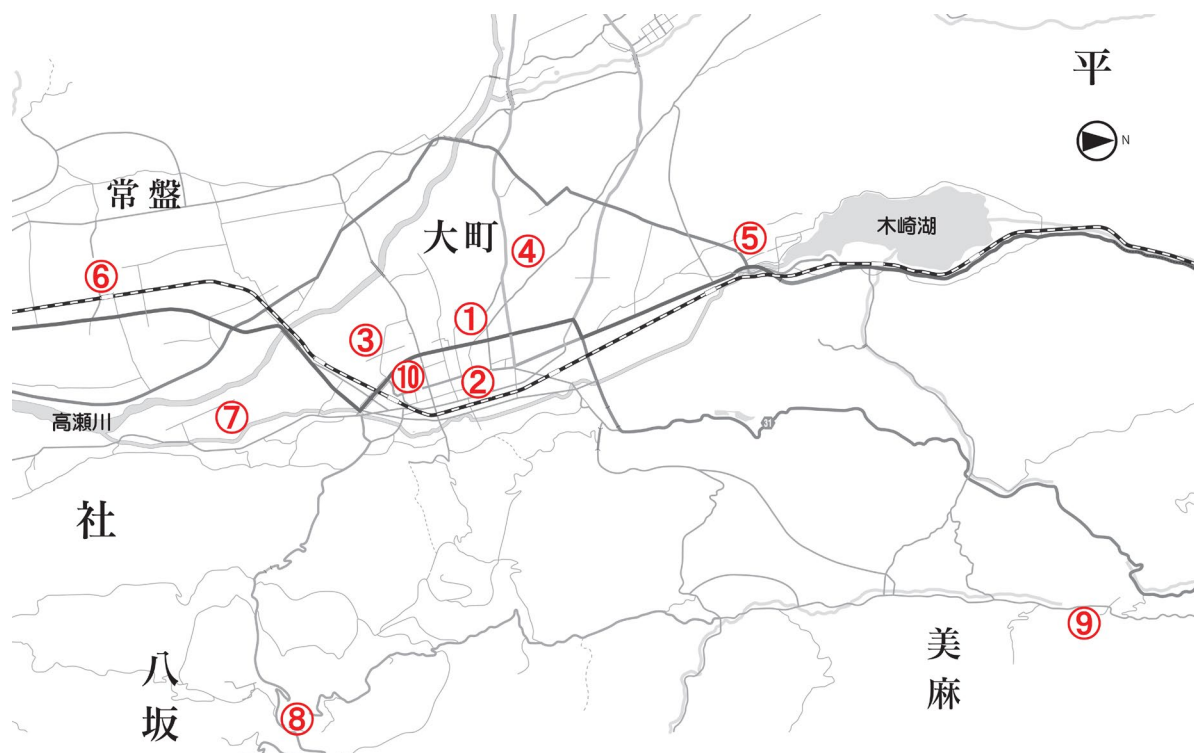
7 保育園

(1) 施設別状況

NO	施設名称・棟名称	延床面積(㎡)	構造	建築年	耐震履歴	経過	劣化結果	4分類	避難所	担当課
1	児童センター	570.03	W造	H18	不要	19	B	①		子育て支援課
2	はなのき保育園	1937.5	S造	H20	不要	17	A	①		
3	くるみ保育園	1456.16	W造	H23	不要	13	A	①		
4	しらかば保育園	686	S造	H16	不要	21	A	①		
5	あすなろ保育園	1815.4	R C造	H29	不要	7	A	①		
6	どんぐり保育園	795.1	W造	H11	不要	31	A	①		
7	たけのこ保育園	597.9	W造	H6	不要	30	B	①		
8	みあさ保育園	460.42	W造	S61	不要	39	B	②		
9	あゆみ園	139.5	S造	H5	不要	31	C	②		

延床面積合計 8,458.01 ㎡

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	児童センター	- 親子の遊びや学習、保護者同士の交流や情報交換を行い、親子が共に育つ場 - 子育て家庭に対して、育児相談や講座・教室、子育てサークル支援等を行う場 - 子どもの活動の場、学びの場で、地域の子どもなら誰でも利用でき、交流できる場
2	はなのき保育園	- 十分に子どもを保育できない場合に、家庭に替わって子ども（0～5歳の乳児および幼児）を保育する場 - 保護者の子育てに関する相談支援や、保護者同士の情報交換の場
3	くるみ保育園	
4	しらかば保育園	
5	あすなろ保育園	
6	どんぐり保育園	
7	たけのこ保育園	
8	みあさ保育園	
9	あゆみ園	- 発達支援が必要な幼児と保護者を対象に、個々の発達段階に添った療育を行い、集団参加への意欲を育くむための施設 - 前期幼児期はその後の認定こども園、保育園、学校における集団生活への適応性を高め自己有用感を確立する重要な施設

②施設の現状と課題

NO	施設名	施設の現状と課題
1	児童センター	- 老朽化及び経年劣化による施設の傷み、修繕箇所が増加 - 当面は、不具合発生時の修繕で対応できるが、将来的には大規模な改修工事が必要 - 設備関係に不具合が発生してきており、今後も利用者の利便性を継続的に確保しつつ、各設備の状況を把握し計画的な修繕の実施が必要
2	はなのき保育園	- 大町市保育所等のあり方検討委員会において、保育所等の方向性について協議が必要 - はなのき保育園、くるみ保育園、あすなろ保育園は、適切な保守を行い、良好な状態を維持しながら施設を運用 - しらかば保育園、どんぐり保育園は施設の老朽化が進んでおり、適切な修繕や維持管理が必要 - どんぐり保育園は、水害想定区域に位置しており、防災意識の向上が必要 - たけのこ保育園は、開設から30年以上が経過し、一部設備に劣化、不具合を
3	くるみ保育園	
4	しらかば保育園	
5	あすなろ保育園	
6	どんぐり保育園	
7	たけのこ保育園	
8	みあさ保育園	

		確認
9	あゆみ園	・みあさ保育園は、開設から約 40 年が経過し、老朽化への対応が大きな課題 ・施設の老朽化が進んでいるため、長寿命化を図るとともに、改修などの時期についても検討が必要 ・当面は必要な修繕で対応していくが、今後の施設のあり方の検討が必要 ・大北圏域に同様の施設がないことから、利用ニーズが高まっている。

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況（人）				R 6 維持管理（千円）		利用者 1 人コスト(円)	市民 1 人コスト (円)
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		
1	児童センター	利用者数	10,487	11,139	8,690	2,094	2,312	25	9
2	はなのき保育園	利用者数	22,476	23,505	24,090	0	9,684	402	385
3	くるみ保育園	利用者数	12,934	12,953	12,944	0	7,086	547	282
4	しらかば保育園	利用者数	4,539	6,529	5,265	0	5,372	1,020	214
5	あすなろ保育園	利用者数	23,521	23,026	22,655	0	8,299	366	330
6	どんぐり保育園	利用者数	6,207	5,961	4,738	0	5,609	1,184	223
7	たけのこ保育園	利用者数	2,963	2,767	3,294	0	3,372	1,024	134
8	みあさ保育園	利用者数	685	—	—	0	454	—	18
9	あゆみ園	利用者数	1,801	1,490	1,640	0	0	376	24

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第 1 期	第 2 期
1	児童センター						照明 LED 化他	継続	継続
		屋根、外装改修を検討するとともに、令和 8 年度に照明 L E D 化及びプレイルームのエアコン設置事業を行う。							
	かえで保育園	統廃合を委員会等で協議		除却					
		あり方検討会において廃止の方向性が示され、R 5 年度予算で除却							
2	はなのき保育園	統廃合を委員会等で協議			施設照明 の LED 化	－	施設照明 の LED 化	継続	統合
3	くるみ保育園								
4	しらかば保育園		令和 6 年度、保育所等のあり方検討委員会を開催し、保育園の原状と今後の課題について共有し、検討を始めた。令和 7 年度は、同委員会で保育園の今後のあり方に関する方向性を検討していく。						
5	あすなろ保育園								
6	どんぐり保育園								
7	たけのこ保育園								
8	みあさ保育園								
9	あゆみ園	移転・施設のあり方等の検討						継続	移転
		利用者を受け入れるための十分なスペースの確保ができず、また施設の老朽化等により移転・あり方等の検討が必要である。今後は、保育所等あり方検討委員会と情報を共有しながら、今後の方向性について検討していく。							

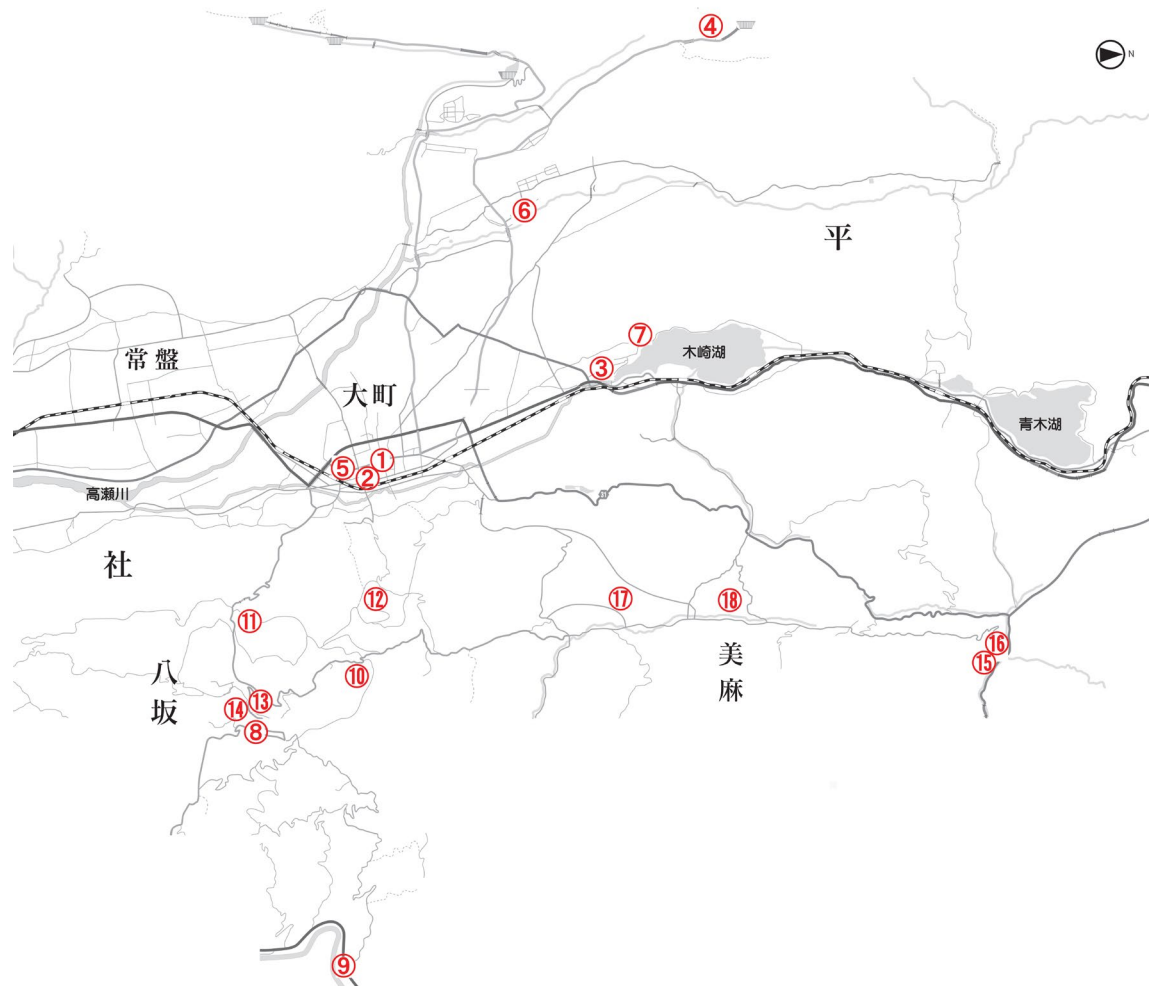
8 観光・産業系施設

(1) 施設別状況

No	施設名称・棟名称		延床面積 (㎡)	構造	建 築 年	耐震 履歴	経 過	劣化 結果	4 分 類	避 難 所	担当課
1	労働会館		215.71	W造	H7	不要	30	B	③		まちづくり産業課
2	大北高等職業訓練校		317.98	S造	H7	不要	30	B	①		
3	アミューズメントハウス	プール棟	2,056.44	R C造	H8	不要	29	C	②		観 光 文 化 課
		ポンプ室	12.6	R C造	H8	不要	29	B			
4	扇沢総合案内センター		521.84	R C造	S44	未実施	55	B	②		
5	駅前観光案内センター		127.11	S造	H4	不要	33	B	①		
6	木崎湖キャンプ場シャワー室		31.06	R C造	S56	未実施	44	B	④		
7	交 流 促 進 センター 明日香荘	本館	2,109.11	S造	H14	不要	22	A	③		八 坂 支 所
		宿泊棟	1626.8	S造	H10	不要	26	A			
		そば製粉所	89.43	W造	H14	不要	23	A			
		屋内ゲートボール場	587.22	W造	H1	不要	34	A			
8	ふれあい センター さざなみ	レストハウス	766	W造	H14	不要	23	A	③		
		事務室	187	R C造	H14	不要	23	A			
		宿泊施設	602.42	W造	H1	不要	35	A			
		体育館	763	W造	H1	不要	35	C			
9	唐花見休憩所 (便所含む。)	休憩所	44.7	W造	S63	不要	36	A	①		
		便所	12.96	W造	S61	不要	38	A			
10	鷹狩山展望施設	エコーハウスたかがり	233.53	W造	H14	不要	23	A	③		
		展望台	213.25	S造	S63	不要	37	B			
11	大平農業用機械格納庫		129.6	S造	H12	不要	25	A	③		
12	八坂ふるさと体験館		298.11	W造	H8	不要	29	A	③		
13	ぼかぼかランド美麻	本館	2,997.32	S R C造	H5	不要	32	B	①		
		入浴施設	430.03	S造	H28	不要	9	A			
14	ぼかぼかランド美遊 (便所含む)	ぼかぼかランド美遊	758.37	S R C造	H8	不要	29	A	③		
		公衆トイレ	37.5	S R C造	H8	不要	29	B			
		農産物直売所	10.46	S造	H14	不要	23	B			
15	おおいお市民農園	休憩施設 (1～10号棟)	37.4×10棟 374.00	W造	H13	不要	24	B	①		美 麻 支 所
		休憩施設 (11～16号棟)	40.03×6棟 240.18								
		休憩施設 (17～26号棟)	38.46×10棟 384.6	W造	H15	不要	22	B			
		休憩施設 (27～36号棟)	38.46×10棟 384.6								
		管理棟	204.12	W造	H14	不要	23	A			
		機械棟	20.25	W造	H14	不要	23	A			
16	ふたえ市民農園	休憩施設 (1A～5A)	48.86×5棟 244.30	W造	H9	不要	28	B	①		
		休憩施設 (6B～31C)	48.86×26棟 1,270.36								
		休憩施設 (32C～39A)	48.86×8棟 390.88	W造	H9	不要	28	B			
		休憩施設 (40C～45A)	48.86×6棟 293.16								
		休憩施設 (46C～49A)	48.86×4棟 195.44	W造	H12	不要	25	B			
		交流促進センター	614.97								
		倉庫・オイルタンク庫	31.05	W造	H8	不要	29	A			

延床面積合計 20,353.07 ㎡

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	労働会館	・勤労者等の生活文化の向上及び福祉の増進を図るための施設
2	大北高等職業訓練校	・労働者の職業訓練及び技術の向上を図るための施設
3	アミューズメントハウス	・温泉を利用したスポーツレクリエーション活動を通じ、市民の健康増進と観光事業の振興を図るための施設
4	扇沢総合案内センター	・立山黒部アルペンルートの長野県側玄関口の総合観光案内所として、観光案内等を実施
5	駅前観光案内センター	・以前は、観光案内センターや旅館業組合の窓口としての機能を担っていたが、現在は別の場所へ移設したため、2階部分を観光課事務所（観光振興係）として使用 ・1階をふれあいバス待合所（情報交通課）、手荷物預り所（TKK）として使用
6	木崎湖キャンプ場シャワー室	・木崎湖キャンプ場隣接のシャワー室として、キャンプ場を利用した方や木崎湖で遊んだ方が使用する施設 ・現在は、サウナ利用者に限定した使用施設となっている。
7	交流促進センター明日香荘	・市民の健康増進に資するための保養施設であると同時に観光施設 ・地域間交流の促進、観光振興、地域の活性化を図る役割
8	ふれあいセンターさざなみ	・市民の健康増進に資するための保養施設 ・犀川を利用したラフティングやカヌーが楽しめる観光施設 ・地域間交流の促進、観光振興を通して地域の活性化を図るための役割
9	唐花見休憩所(便所含む)	・観光に訪れる利用者の利便性としての役割

10	鷹狩山展望施設	・市民の福祉の増進や観光に訪れた方の観光施設として、地域振興の活性化に寄与する役割
11	大平農業用機械格納庫	・農業機械の倉庫としての役割
12	八坂ふるさと体験館	・八坂の伝統文化が体験できる施設としての役割 ・都市交流事業、地域産業の振興に寄与するための体験観光の場の役割
13	ぽかぽかランド美麻	・道の駅 ・地域間交流の促進、観光事業の振興及び市民福祉の増進を図る役割
14	ぽかぽかランド美遊(便所含む。)	・過疎地域若者定住促進等緊急プロジェクト事業により建設 ・交流室、屋内多目的広場等、地域や観光客の交流を進める施設
15	おおしお市民農園	・都市と農村の住民交流を図り地域の振興と活性化に寄与する施設。
16	ふたえ市民農園	

②施設の現状と課題

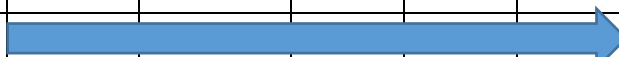
NO	施設名	施設の現状と課題
1	労働会館	・施設の利用は、組合活動を行う一定の労働者に限定 ・大町市のみでなく、大北地域の労働者のための施設 ・大北地域内の労働組合団体等の利用に限定されているため、組合組織等労働者団体が自主運営する施設への譲渡を検討
2	大北高等職業訓練校	・県認定の大北高等職業訓練校が本施設において職業訓練を実施 ・建設時の補助金の活用等様々な諸事情から、市において整備したが、大北地域内住民を対象に職業訓練及び松本技術専門校の委託事業等を行う施設となっているため、訓練校への譲渡を検討
3	アミューズメントハウス	・今後のメンテナンスや改修費用は、数千万円から数億円規模の高額な費用が想定される。 ・市として施設のあり方や木崎湖周辺の将来的な観光振興の方向性を含め、隣接する木崎湖温泉開発(株)との調整や総合的な検討が必要である。
4	扇沢総合案内センター	・施設の設置目的がほぼ達成され、利用率も減少していることから、施設の更新や大規模改修は実施しておらず、計画もない。 ・取り壊しには、アスベスト除去等、多額の費用がかかるため、施設の廃止時期等について、今後、国や関係機関との協議が必要。
5	駅前観光案内センター	・観光案内機能が移管され、課(係)の一元化や再編が進められていることから、引き続き、大町市観光協会との業務、役割分担を明確にした上で、マンパワーを最大限に生かしていく方策や施設の効果的な運用について検討が必要。
6	木崎湖キャンプ場シャワー室	・使用不可となっていた施設をキャンプ場にて修理・改修し、サウナ利用者専用の使用施設としている。 ・公共的な利用状況ではないことや、老朽化に伴う改修や除却に多額の費用を要することが想定されるため、不動産鑑定を行い、払下げ(廃止)を含めた検討を行う。
7	交流促進センター明日香荘	・機械施設等の老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要 ・ゲートボール場の利用は少ないことから、利用状況を把握し、今後の方向性を総合的に検討が必要
8	ふれあいセンターさざなみ	・宿泊棟・体育館は築35年を経過しており、大きな修繕歴はないが、老朽化が進んでいる状況 ・レストハウスは、築23年を経過しており、機械施設等計画的な修繕を行いながら長寿命化を図る ・地元住民の利用者が少ない課題があり、施設譲渡や廃止の検討が必要
9	唐花見休憩所(便所含む。)	・築36年を経過しており計画的な修繕等を行い安全性、機能性の維持が必要
10	鷹狩山展望施設	・鷹狩山山頂からの眺望確保のための樹木管理等について、関係部署と協議を進める。 ・温暖化に伴い施設内の温度が上昇し環境が悪化しているため、空調設備の整備を進める。 ・利用促進に関して関係部署や指定管理者と引き続き協議を進める。

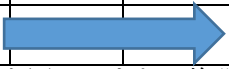
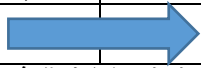
11	大平農業用機械格納庫	・ 築 25 年を経過しており、計画的な修繕を行いながら施設の長寿命化を図ることが必要 ・ 利用状況を踏まえて、譲渡について検討が必要
12	八坂ふるさと体験館	・ 築 29 年を経過しており、計画的な修繕を行いながら長寿命化を図る ・ 利用状況等を踏まえて、今後のあり方や方向性の検討が必要
13	ぽかぽかランド美麻	・ 平成 5 年の建設で、エレベーターがなくバリアフリーにもなっていないため、高齢者が使い難い施設である。 ・ 開業から 30 年以上経過し、一度も改修していない客室、大広間、レストラン、無料休憩スペース等の劣化も目立つため、計画的に改修を進め長寿命化を図ることが必要
14	ぽかぽかランド美遊	・ 老朽化した施設の改修も含め、新たな利用方法について検討が必要
15	おおしお市民農園	・ 開園から 20 年以上経過しており、計画的な修繕を行いながら長寿命化を図る
16	ふたえ市民農園	・ 開園から 25 年以上経過しており、計画的な修繕を行いながら長寿命化を図る

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況 (人)				R 6 維持管理 (千円)		利用者 1 人コスト (円)	市民 1 人コスト (円)
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		
1	労働会館	利用者数	303	321	376	0	203	540	8
2	大北高等職業訓練校	利用者数	2,030	2,848	2,622	0	274	105	11
3	アミューズメントハウス	利用者数	30,981	34,000	34,851	0	36,498	1,047	1,451
4	扇沢総合案内センター	利用者数	9,814	12,632	16,827	311	3,574	194	130
5	駅前観光案内センター	—	—	—	—	0	613	—	24
6	木崎湖キャンプ場シャワー室	—	—	—	—	0	131	—	5
7	交流促進センター明日香荘	利用者数	33,350	32,696	34,961	0	20,745	593	825
8	ふれあいセンターさざなみ	利用者数	30,082	21,485	18,743	0	5,405	288	215
9	唐花見休憩所 (便所含む。)	—	—	—	—	—	—	—	—
10	鷹狩山展望施設	利用者数	7,205	7,579	9,468	0	2,593	274	103
11	大平農業用機械格納庫	—	—	—	—	—	—	—	—
12	八坂ふるさと体験館	利用者数	701	552	932	0	676	725	27
13	ぽかぽかランド美麻	利用者数	85,577	103,216	136,816	45	3,943	3,757	28
14	ぽかぽかランド美遊 (便所含む。)	利用者数	36,500	36,600	36,500	0	4,711	4,525	129
15	おおしお市民農園	利用者数	2,826	5,616	5,750	12,430	6,572	6,386	-1,019
16	ふたえ市民農園	利用者数	7,707	7,920	7,320	18,455	23,383	23,197	673

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第1期	第2期
1	労働会館							継続	継続 廃止
		譲渡等の検討							
		施設の利用状況や課題を踏まえ、譲渡の可能性について団体と協議を進めていく。							
2	大北高等職業訓練校		指定管理 継続検討					継続	継続
		譲渡等の検討							
		施設の利用状況や課題を踏まえ、譲渡の可能性について団体と協議を進めていく。							
3	アミューズメントハウス	施設の方向性の検討						継続	継続
		引き続き適切な維持管理、脱炭素化によるコストの縮減、計画的な予防保全措							

		置等を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模な改修等が必要になった際には、施設のあり方や方向性について検討する。							
4	扇沢総合案内センター						廃止検討	継続	継続
		通称「トロバス記念館」として認知され、利用者も増加している。耐震性に留意し、利用者等の安全面を確保して既存の維持管理の範囲で継続していく。							
5	駅前観光案内センター	運営方法の見直し等の検討						継続	継続
		適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図る。							
6	木崎湖キャンプ場シャワー室	検討			休止	休止	撤去	廃止	
		地元からの陳情もあり、撤去作業を進めていく。							
7	交流促進センター明日香荘	ゲートボール場検討							
		浄化槽ばっ気プロロー修繕 1,650	冷暖房設備更新 2,155	冷暖房設備更新 20,405		冷暖房設備更新 8,888	冷暖房設備更新 15,000	継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。また、施設の老朽化が課題であるが、地元要望を踏まえ、施設の今後のあり方を検討する中で方向性について総合的に判断する。							
8	ふれあいセンターさざなみ							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。また、施設の老朽化が課題であるが、地元要望を踏まえ、施設の今後のあり方を検討する中で方向性について総合的に判断する。							
9	唐花見休憩所（便所含む。）	便所屋根・壁塗装等 800						継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
10	鷹狩山展望施設					エアコン設置 3,850		継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。また、観光客の増加に伴い指定管理者と協議の上、施設の改善を進める。							
11	大平農業用機械格納庫			譲渡検討				継続	譲渡
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。また、施設の現状や課題を踏まえて譲渡等について検討する。							
12	八坂ふるさと体験館				譲渡検討			継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。また、施設の今後のあり方を検討する中で、方向性について総合的に判断する。							
13	ぽかぽかランド美麻	客室加修繕、トイレ改修 1,800	2階廊下・大広間加修繕 1,300	休憩所加修繕 500	レストラントイレ修繕 620			継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
14	ぽかぽかランド美遊（便所含む。）		道の駅トイレ便器改修 1,000	道の駅トイレ便器改修 1,000	道の駅トイレ便器・女洗面所改修 1,500			継続	継続
				利活用の検討					
		適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図るとともに、当施設の現状や課題を踏まえ、今後の施設の運営方法及び施設のあり方も含め見直し等を検討する。							
15	おおしお市民農園	屋根塗装 3,000	屋根塗装 3,000	屋根塗装 3,000	屋根塗装 3,000	屋根塗装 3,000	屋根塗装 3,000	継続	継続
16	ふたえ市民農園	適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、当施設の現状や課題を踏まえ、今後の施設の運営方法の見直し等を検討する。							

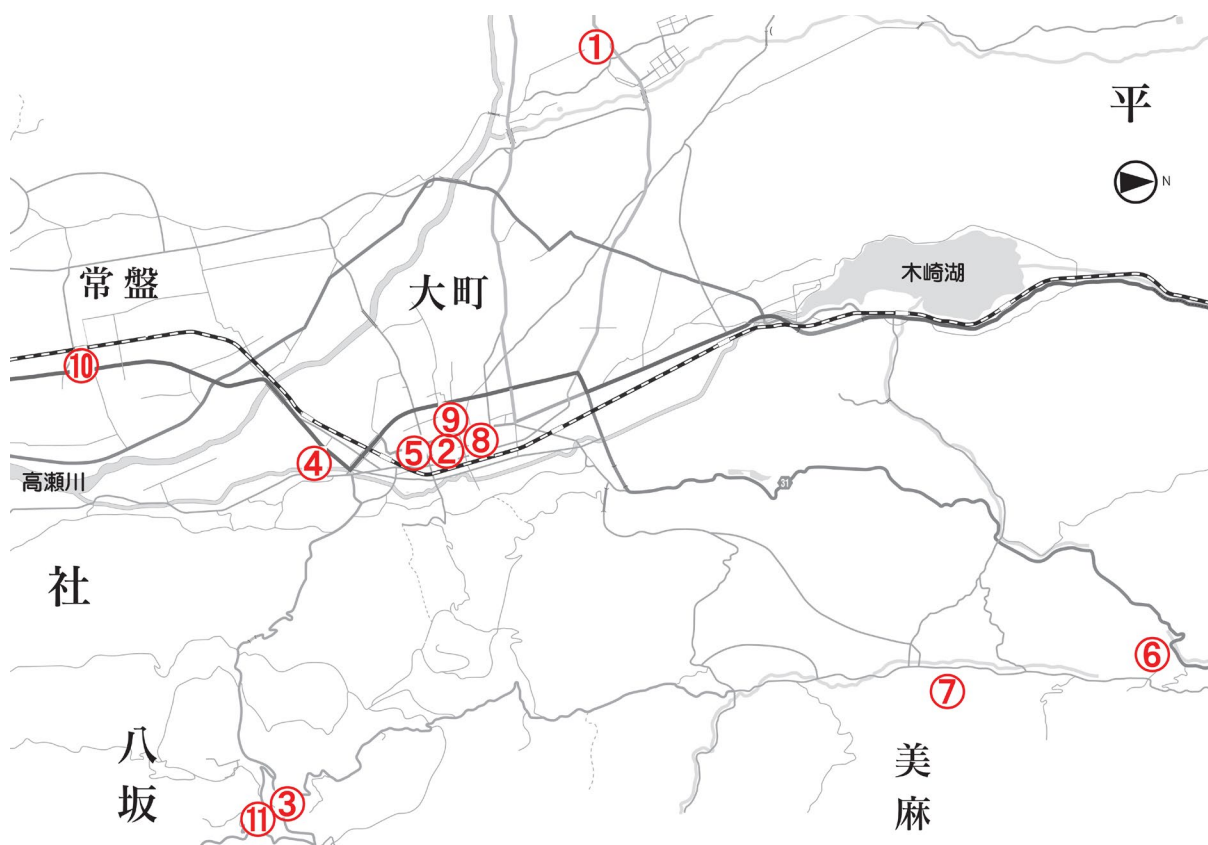
9 保健・社会福祉施設

(1) 施設別状況

NO	施設名称・棟名称		延床面積 (㎡)	構造	建 築 年	耐震 履歴	経 過	劣化 結果	4 分 類	避 難 所	担 当 課
1	上原の湯		631.02	R造一部RC造	H17	不要	20	B	③		市 民 課
2	中央保健センター		896.25	S R C造	H3	不要	34	A	①		
3	八坂診療所		211.98	W造	R6	不要	1	A	①		
4	社会就労センター	作業所	453.98	R C造	S 52	実施済	47	C	②		福 社 課
		車庫	48.6	S 造	H5	不要	31	B			
5	総合福祉センター		3,212.35	R C造	H14	不要	23	C	①		
6	美麻福祉 企業センター	作業所	470	W造	不明	未実施	—	C	①		
		事務所、作業所	391.74	S 造	H28	不要	9	A			
7	美麻総合福祉セン ター（梨嶺）	本館	3,212.35	R C造	H14	不要	23	C	①		
		車庫	135	S 造	H14	不要	23	C			
8	老人共同集会施設		220.51	W造	S 63	不要	37	B	③		
9	デｲｰﾋﾞｽﾞｾﾝﾀｰかたくり（旧かたくり）		1,124.78	R C造	S 43	未実施	56	D	④		
10	ふれあいﾌﾟﾗｻﾞ		741.53	S 造	H13	不要	24	A	①		
11	みさか（八坂総合福祉センター／八坂デｲｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ）		829.95	S 造	H9	不要	28	A	①		

延床面積合計 12,580.04 ㎡

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	上原の湯	・ 市民のコミュニティの振興と健康保持増進を図る公共施設としての役割
2	中央保健センター	・ 市の保健衛生活動の中核施設としての役割 ・ 中央保健センター内にあるこども家庭センターあおぞらは、妊娠期から子育て期までの保護者に対し、切れ目のない支援を行うための相談・支援の拠点となる役割
3	八坂診療所	・ 八坂地区の地域医療と保健福祉の核としての役割
4	社会就労センター	・ 「社会福祉法」に基づく身体及び知的等の障がいにより一般就労が困難な者に対して、就労の場の提供、経済的支援を図る役割 ・ 様々な作業を体験・習得させることで一般就労へ繋げる役割 ・ 生活保護費を受給している生活困窮者など就労の場を提供し、自立助長と生活の安定を図る役割
5	総合福祉センター	・ 市民の福祉、健康及び体力の増進並びに在宅の要介護者及びその家族の福祉の向上を図ることを目的に設置され、公衆浴場、会議室の貸館利用など地域住民や福祉団体等が多く利用 ・ 市社協によるボランティアセンターをはじめ、介護保険や障害福祉サービスのほか、成年後見支援センター、障害者相談支援センター、生活困窮者自立支援センターの事務所があり、専門性とノウハウを活かし利用者やその家族の拠り所として地域福祉の拠点施設
6	美麻福祉企業センター	・ 生活保護法にもとづき、身体上、精神上の理由または世帯の事情で就業能力の限られている要保護者に対し、就労や技能の習得のために必要な機会を与え、自立を支援
7	美麻総合福祉センター（梨嶺）	・ 美麻地区の地域福祉の拠点として、地区社会福祉協議会の事務所を併設 ・ 社会福祉事業を推進し市民の福祉、健康及び体力の増進並びに在宅の要介護者及びその家族の福祉の向上に寄与

		・美麻地区唯一のデイサービスセンターであるとともに、特殊浴槽のある数少ないデイサービスセンターとして地区外からも利用
8	老人共同集会施設	・大町市陶芸の家として、高齢者の生きがいをづくりの役割
9	デイサービスセンターかたくり（旧かたくり）	・平成 25 年 4 月から、特定非営利活動法人北アルプスの風と賃貸借契約を締結し、福祉施設として使用してきたが、令和 5 年度をもって使用を中止
10	ふれあいプラザ	・市民の福祉及び保健福祉の保持増進並びに文化の向上を図る施設として、高齢者福祉、放課後児童健全育成並びに三世代交流事業を通してまちづくりに貢献
11	みさか（八坂総合福祉センター／八坂デイサービスセンター）	・八坂地区の地域福祉の拠点として、地区社会福祉協議会の事務所が併設 ・社会福祉事業を推進し、市民の福祉、健康及び体力の増進並びに在宅の要援護者及びその家族の福祉の向上に寄与 ・八坂地区に唯一のデイサービスセンターとして八坂地区住民や地区外からも利用

②施設の現状と課題

NO	施設名	施設の現状と課題
1	上原の湯	・建設から 26 年が経過し、施設や設備の経年劣化が進んでいることから、故障や修繕箇所が増加 ・適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図っていくこととしつつも、人口減少や高齢化による利用者の減少が懸念される中で、施設の老朽化に伴う修繕費等の多額の費用が必要となってくる。公共施設としての必要性や費用対効果の面から、今後の施設のあり方について検討していく必要がある。
2	中央保健センター	・建設から 34 年が経過していることから、施設の長寿命化が必要 ・業務の効率化や他部署との連携による一体的サービスの提供を行うため、機能集約等について検討が必要
3	八坂診療所	・令和 5 年度事業にて、令和 6 年 9 月末完成。八坂支所駐車場に新築移転 ・適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。
4	社会就労センター	・建築から 47 年が経過し、平成 23 年度に行った耐震診断の結果では構造耐震判定基準を上回り一応の安全は確認されたものの、壁にひびなどが見られるなど老朽化が進行しており、施設の長寿命化に向けた改修や建替え等の時期の検討が必要 ・改修等を実施する場合には、近隣での類似施設の状況や社会情勢、利用者を含めた市民ニーズの変化に対応できるよう検討が必要
5	総合福祉センター	・設置から 23 年が経過し、施設や設備も経年劣化が進んでいることから、必要性や優先度に応じ必要な修繕・更新を計画的に行う。
6	美麻福祉企業センター	・木造の作業所及び鉄骨造の倉庫などの旧作業所は、かなり老朽化しているが、部材等の保管庫としての機能を果たしており、今後も旧作業所も適切な維持管理を行い、建物の長寿化を図る。 ・安全面を考慮し、除却の時期の検討が必要
7	美麻総合福祉センター（梨嶺）	・設置から 23 年が経過し、施設や設備も経年劣化が進んでいることから、必要性や優先度に応じ必要な修繕・更新を計画的に行う。
8	老人共同集会施設	・施設整備から 37 年が経過し、今後老朽化による修繕が必要 ・2 基ある石油窯（1 基目：平成 16 年 9 月設置、2 基目：平成 26 年 7 月設置）のうち、1 基は設置から 20 年が経過し、今後経年劣化による故障が懸念される。 ・高齢者の社会進出に伴い、仲間との親睦や生きがいをづくりの場が多様化しているが、当施設は陶芸に特化していることから、利用者は限定
9	デイサービスセンターかたくり（旧かたくり）	・平成 25 年 4 月から、特定非営利活動法人北アルプスの風が賃貸借契約に基づき福祉施設として使用してきたが、令和 5 年度をもって使用を中止
10	ふれあいプラザ	・地域の福祉拠点施設として、子どもから高齢者までの幅広い利用

		者が利用できる施設 ・開設後 24 年が経過し、設備全般が経年劣化の機能低下の兆しが見られ、故障や修繕箇所が増加しているため、計画的な修繕が必要
11	みさか（八坂総合福祉センター／八坂デイサービスセンター）	・設置から 28 年以上経過し、施設や設備も経年劣化が進んでいることから、必要性や優先度に応じ必要な修繕・更新を計画的に行う。

（４）施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況（人）				R 6 維持管理（千円）		利用者 1 人コスト(円)	市民 1 人コスト(円)
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		
1	上原の湯	利用者数	58,276	55,303	60,924	0	10,142	166	403
2	中央保健センター	利用者数	9,521	9,680	6,037	0	4,170	691	166
3	八坂診療所	利用者数	3,593	—	600	14,672	92,739	130,112	3,104
4	社会就労センター	利用者数	4,339	4,300	4,153	1,793	1,692	-24	-4
5	総合福祉センター	利用者数	38,527	43,833	46,624	0	30,200	648	1,201
6	美麻福祉企業センター	利用者数	3,819	3,528	4,174	664	1,518	269	34
7	美麻総合福祉センター（梨嶺）	利用者数	4,913	5,019	4,925	0	8,914	1,810	354
8	老人共同集会施設	利用者数	430	1,493	1,298	66	785	554	28
9	デイサービスかたくり（旧かたくり）	利用者数	3,590	—	—	—	—	—	—
10	ふれあいプラザ	利用者数	12,392	12,900	13,475	0	6,241	463	245
11	みさか（八坂総合福祉センター／八坂デイサービスセンター）	利用者数	4,091	3,489	3,514	0	7,672	2,170	303

（５）施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第 1 期	第 2 期
1	上原の湯					浄化槽・引湯設備改修 1,925、R8 の設計委託 1,633	浴室改修工事等 25,600	継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図っていくこととし、施設の原状や課題を踏まえ、持続可能な運営を推進する。							
2	中央保健センター	電気設備工事 420	電気設備工事 420	電気設備工事 420	機能集約等検討		電気設備工事 1,543	継続	継続
		適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図りつつ、老朽化も進んでいることから、移転も含め検討する。							
3	大町市国民健康保険八坂診療所			新築移転 59,334	新築移転 81,334			継続	継続
		令和 6 年新築移転。適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
4	社会就労センター	1 階エアコン改修 800	2 階エアコン改修 800					継続	継続
		令和 6 年 10 月の理事者ヒアリングにおいて、2 つの授産所について統合しない方向性を報告したことを受け、適正な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							

5	総合福祉センター	空調設備 改修検 討・実施	デｲサービス 空調設備 改修 17,765	会議室空 調設備改 修 22,000		高圧電気 設備改修 3,713		継続	継続
適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図り、事業を継続する。									
6	美麻福祉企業センター							継続	継続
適切な維持管理を行い施設の長寿命化を図る。旧作業所は、一定の注文量を維持している間、部材倉庫としての利用が必要である。引き続き安全面には留意しつつ、修繕等の費用は極力抑えて使用していく。									
7	美麻総合福祉センター（梨嶺）				高圧電気 設備改修 1,457		空調設 備改修 工事 4,400	継続	継続
適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図り、事業を継続する。									
8	老人共同集会施設						LED化 1,850	継続	継続
適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図り、事業を継続する。									
9	デｲサービ センターか たくり (旧かたくり)	廃止へ 向けた 検討						継続	廃止
耐震性に留意し、所有者との協議を継続し、廃止の時期について検討する。									
10	ふれあいプラザ			空調設 備改修 1,375			温水ボイ ー改修工 事 10,120 浴室空調 設備改修 3,025	継続	継続
適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図り、事業を継続する。									
11	みさか（八坂総合福祉センター／八坂デｲサービスセンター）							継続	継続
適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図り、事業を継続する。									

10 庁舎等

（1）施設別状況

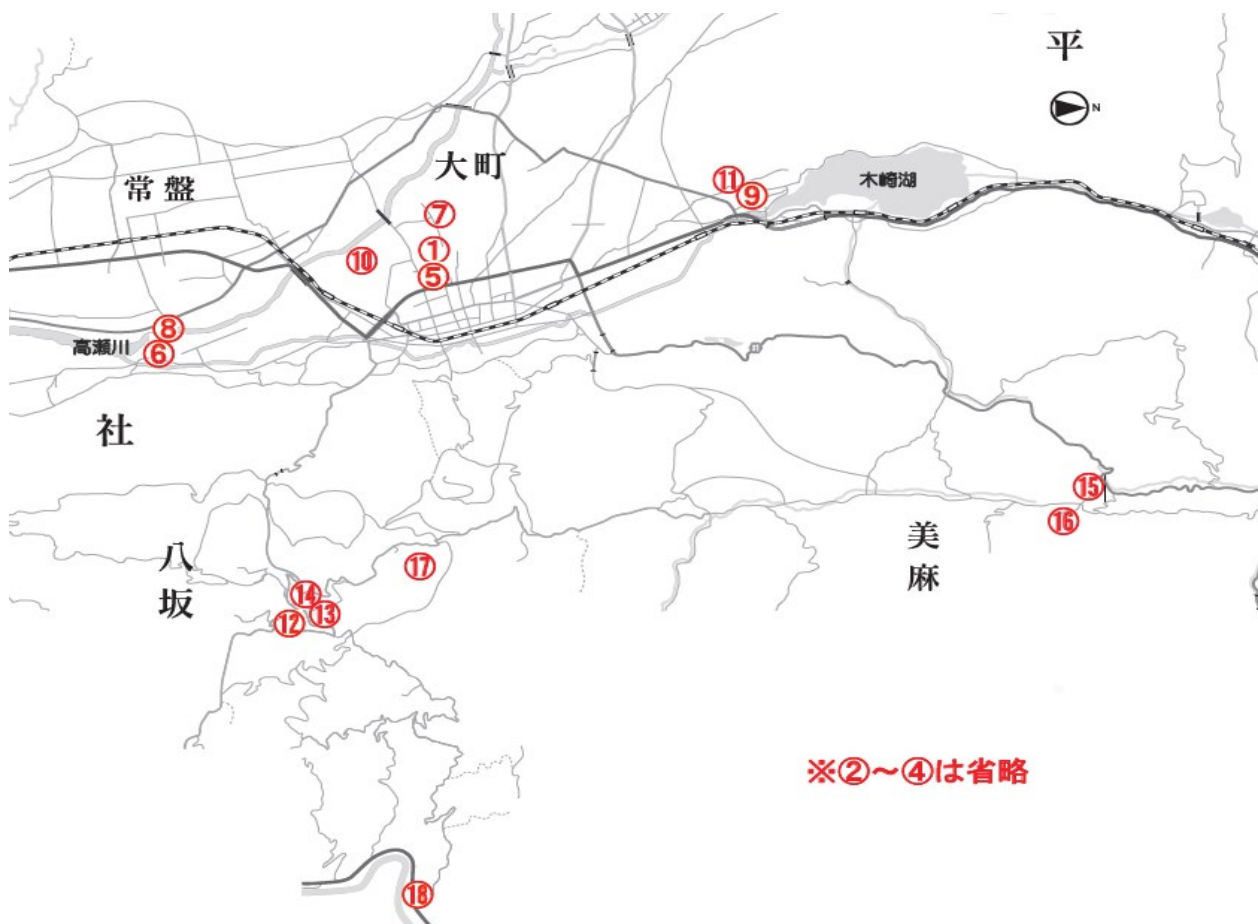
NO	施設名称・棟名称		延床面積 (㎡)	構造	建築 年	耐震 履歴	経過	劣化 結果	4 分類	担当課
1	市庁舎	本庁舎	4,636.45	R C造	S52	実施済	48	B	②	企画財政課
		議会棟	1,780.79	R C造	S52	実施済	48	B		
		西庁舎	1,400.81	R C造	S52	実施済	48	A		
		車庫	935	S造	S52	未実施	48	C		
		重機車庫	72	S造	S52	未実施	48	B		
		倉庫	470.08	S造	S62	不要	38	B		
		マイクロバス車庫	113	S造	S62	不要	38	B		
		東庁舎	1,337.27	S R C	H9	不要	29	B		
2	防災倉庫	市役所防災倉庫	90.7	S造	H17	不要	19	A	①	危機管理課
		大新田防災資機材倉庫	56.96	S造	H6	不要	32	A		
		北小防災倉庫	42.54	S造	H17	不要	19	A		
		南小防災倉庫	42.54	S造	H17	不要	19	A		
		東小防災倉庫	42.54	S造	H17	不要	19	A		
		防災資機材保管庫	13.82	S造	H11	不要	27	A		
		美麻総合福祉センター内防災備蓄倉庫	42.5	S造	H20	不要	18	A		
		八坂防災備蓄倉庫	23.38	S造	S63	不要	38	A		
		B&G防災拠点大町大新田防災倉庫	67.56	R C造	R5	不要	2	A		
		三日町水防団倉庫	42.77	S造	H7	不要	29	A		

3	消防団詰所・車庫	消防団詰所	114.5	S造	H18	不要	18	A	① ②	危機管理課
		大黒町ポンプ車車庫・詰所	68.88	W造	H4	不要	32	B		
		白塩町ポンプ車車庫詰所	77.76	W造	H5	不要	31	A		
		仁科町ポンプ車車庫詰所	80.4	W造	H9	不要	27	A		
		神栄町ポンプ車車庫・詰所	77.76	W造	H7	不要	29	A		
		借馬積載車車庫	20.5	S造	S62	不要	37	A		
		大原町積載車車庫・詰所	46.3	W造	不明	-	-	A		
		野口ポンプ車車庫	27.75	C B造	H8	不要	28	A		
		海ノ口積載車車庫	17.26	C B造	S49	未実施	50	A		
		木崎ポンプ車車庫・詰所	46.3	W造	H11	不要	26	A		
		湖端積載車車庫	24.84	W造	H31	不要	7	A		
		上一積載車車庫	17.1	C B造	H1	不要	35	A		
		泉積載車車庫	27.28	C B造	H4	不要	32	B		
		清水積載車車庫	40.22	S造	R1	不要	6	A		
		下一ポンプ車車庫	27.75	C B造	H11	不要	27	A		
		須沼積載車車庫	19.44	S造	S59	不要	40	D		
		西山積載車車庫	40.22	S造	H30	不要	8	A		
		宮本積載車車庫	20.5	W造	S62	不要	37	A		
		閨田積載車車庫	18	S造	S55	未実施	44	B		
		館之内積載車車庫	20.5	S造	S63	不要	36	B		
		松崎ポンプ車車庫・詰所	50.16	W造	H16	不要	22	A		
		八坂支所ポンプ車車庫	21.45	S造	不明	-	-	A		
		中央積載車車庫	14.24	S造	H22	不要	16	A		
		切久保積載車車庫	31.02	S造	S63	不要	36	B		
		野平ポンプ車/積載車車庫・詰所	63.76	S造	H19	不要	19	A		
		大塩積載車車庫	29.16	S造	不明	-	-	A		
		二重積載車車庫	29.16	S造	不明	-	-	B		
		新行積載車車庫	37.2	W造	不明	-	-	A		
		青具ポンプ車/積載車車庫	45.44	C B造	不明	-	-	A		
		千見積載車車庫	30.25	S造	不明	-	-	B		
		二ッ屋積載車車庫	20.66	S造	H3	不要	3	A		
		海ノ口積載車車庫	18.73	S造	H4	不要	4	A		
4	消防器具置場	消防署東倉庫	12.93	W造	不明	-	-	A	① ①	危機管理課
		大原町倉庫	10.36	C B造	S63	不要	36	A		
		三日町器具置場	21.47	W造	S16	未実施	83	C		
		高根町器具置場	23.04	W造	S27	未実施	72	B		
		北条屋敷器具置場	9.94	W造	不明	-	-	C		
		鹿島器具置場	9.94	W造	S28	未実施	73	A		
		東松原器具置場	9.41	C B造	S48	未実施	51	B		
		貝原器具置場	9.93	S造	S51	未実施	50	A		
		春午子器具置場	10.06	W造	S29	未実施	70	D		
		沓掛器具置場	10.68	W造	S46	未実施	55	B		
		石原器具置場	24.3	S造	S47	未実施	54	B		
		舟場器具置場	24.4	C B造	不明	-	-	A		
5	情報センター		913.3	S R C	H12	不要	24	A	①	情報交通課
6	環境プラント	車庫棟	150.36	S造	S63	不要	37	B	④	生活環境課
		車庫・倉庫棟	150.36	S造	S63	不要	37	B		
7	グリーンパーク	水処理施設	417.65	R C造	H9	不要	28	A	①	
		トイレ	13.72	C B造	H9	不要	28	A		
		重機車庫	90	S造	H9	不要	28	A		
8	クリーンプラント	本館	1902.68	R C造	H9	不要	28	B	②	
		処理場(予備貯留槽)	149.3	R C造	S55	未実施	45	B		
		管理棟	504	R C造	S63	不要	37	B		
9	スノーステーション		312.54	S造	H12	不要	24		①	建設課
10	大新田資材置場		230.21	S造	S49	未実施	51		②	
11	平野球場倉庫	倉庫1	51.03	S造	不明	-	-		① ②	
		倉庫2	13.32	S造	不明	-	-			
		倉庫3	50.22	S造	H4	不要	32			
12	八坂支所	庁舎	1,783.73	R C造	S50	実施済	49	B	②	八坂支所
		車庫	163.01	R C造	S50	不要	49	B		
		倉庫	52.65	S造	S56	不要	43	B		
13	大平重機車庫		133	S造	H9	不要	29	A	②	

14	バス車庫（大平）		155.18	S造	H2	不要	34	B	②	美麻支所
15	美麻支所（美麻公民館含む。）	庁舎	755.75	C B造	H19	不要	17	B	①	
		旧美麻情報センター	233.87	C B造	H13	不要	24	B		
16	除雪基地		210.74	S造	S63	不要	37	B	②	
17	切久保重機車庫		62.2	S造	H9	不要	29	B	②	八坂支所
18	舟場車庫		117.6	S造	H3	不要	35	A	③	

延床面積合計 21,228.08 m²

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	市庁舎	・行政活動の拠点、職員の執務空間としての役割 ・災害時の防災拠点として、市民の安全を守る役割
2	防災倉庫	・災害時に必要な資機材や備蓄食料を補完する役割
3	消防団詰所・車庫	・消防団活動の拠点となる施設で、消防車両や必要な資機材を保管する役割
4	消防器具置場	・消防団活動に必要な資機材を保管する役割
5	情報センター	・地域情報化の拠点施設（イントラネット網及びCATV網の集約施設） ・市及び北アルプス広域連合（大北5市町村）の情報通信機器収容施設（データセンター） ・市ケーブルテレビ事業のセンター施設（受信アンテナ施設、ヘッドエンド施設、放送局舎）
6	環境プラント	・一般廃棄物収集運搬に係る車両車庫及び倉庫
7	グリーンパーク	・一般廃棄物最終処分場

8	クリーンプラント	・市内で発生するし尿、浄化槽汚泥等の処理
9	スノーステーション	・除雪機械車庫及び資材倉庫
10	大新田資材置場	
11	平野球場倉庫	
12	八坂支所	・きめ細やかな行政サービスを提供する八坂地区内の中核的施設 ・災害発生時の八坂地区住民の生命財産を守る防災拠点
13	大平重機車庫	・除雪車倉庫としての役割
14	バス車庫（大平）	・八坂地域振興バスの車庫
15	美麻支所（美麻公民館含む。）	・美麻地区の総合的な行政サービスを提供 ・公民館及び図書館としての役割 ・災害発生時の美麻地区住民の生命財産を守る防災拠点
16	除雪基地	・除雪重機車両等の倉庫としての役割
17	切久保重機車庫	・除雪車の倉庫としての役割 ・空きスペースは農業機械等の一時保管に活用
18	舟場車庫	・さざなみ利用者の送迎等の車両倉庫としての役割

②施設の現状と課題

NO	施設名	施設の現状と課題
1	市庁舎	・本庁舎・西庁舎・議会棟は、耐震改修を行っているが、建設から48年が経過し、設備等が老朽化しているため、施設の長寿命化を図る。空調設備の改修や照明のLED化を実施することに伴い、建て替え等の検討は延期とする。（第2期後半又は第3期前半から検討開始） ・将来的に建替え等を実施する場合には、他の公共施設との複合化や社会情勢、市民ニーズの変化に対応できるように検討が必要
2	防災倉庫	・建物は良好な状態であり、長寿命化に向け引き続き適正な管理が必要
3	消防団詰所・車庫	・消防団活動の拠点となる施設であり、地震により倒壊等の恐れがある施設を計画的に改築
4	消防器具置場	・老朽化の激しい施設や不要な施設があることから、消防団と十分協議し、地域住民の理解を得たうえで統廃合を進めることとし、必要な施設は改築を予定
5	情報センター	・鉄骨鉄筋コンクリート造のため、現時点では建物に主だった劣化は見られないが、経年に伴う設備等の劣化が見られるため、適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化が必要
6	環境プラント	・一般廃棄物収集運搬に係る車両車庫及び特定リサイクル法対象機器保管倉庫の維持管理
7	グリーンパーク	・地元との協定により、使用期間は第3期埋立終了までに変更。 ・現在、使用している第2期埋立地は令和10年度までの使用は可能と判断しているが、測量を継続して行う。 ・第3期埋立地での埋立が終了してからも水処理施設は必要
8	クリーンプラント	・設置より20年以上が経過し、今後は維持のための補修が必要で、経費は増大する見込み
9	スノーステーション	・現状特に問題はない。
10	大新田資材置場	・現状特に問題はないが、建築から51年経過しているので、状況を見ながら大規模修繕か建て替えの検討が必要
11	平野球場倉庫	・3棟のうち、No.1、2は建年不明で、No.3より古い倉庫であるため、長寿命化を図りつつ除却の時期を検討する
12	八坂支所	・建設から49年が経過しており、老朽化した設備等の改修を計画的に行い、施設の長寿命化が必要 ・近隣施設との統合・複合化が可能か、検討が必要
13	大平重機車庫	・計画的な維持修繕による施設の長寿命化が必要
14	バス車庫（大平）	・計画的な維持修繕による施設の長寿命化が必要
15	美麻支所（美麻公民館含む。）	・現状、特に問題はないが、施設をより長期間使用できるよう、必要適切な維持管理が必要
16	除雪基地	・築37年を経過しているため、適切な維持管理により長寿命化を図る。

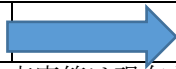
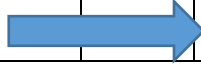
17	切久保重機車庫	・ 築 29 年を経過しており、計画的な修繕を行い施設の長寿命化を図る。
18	舟場車庫	・ 築 35 年が経過しており、計画的な修繕を行い施設の長寿命化を図る。 ・ さざなみ本館の管理運営の検討と合わせて譲渡等の検討が必要

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	R5 維持管理(千円)		市民 1 人 コスト(円)	R6 維持管理(千円)		市民 1 人 コスト(円)
		歳入	歳出		歳入	歳出	
1	市庁舎	4,745	58,441	2,106	6,017	50,156	1,755
2	防災倉庫		770	30	0	656	26
3	消防団詰所・車庫		1,226	48	0	807	32
4	消防器具置場		703	25	0	700	28
5	情報センター	5,004	15,604	416	4,457	22,738	727
6	環境プラント	—	—	—	—	—	—
7	グリーンパーク	10,211	24,176	548	11,067	22,480	440
8	クリーンプラント	5305	137,031	5,305	5,329	113,052	4,283
9	スノーステーション		57	2	—	—	—
10	大新田資材置場	—	—	—	—	—	—
11	平野球場倉庫	—	—	—	—	—	—
12	八坂支所	3,833	18,016	556	5,678	17,305	462
13	大平重機車庫		36	1	0	41	2
14	バス車庫 (大平)		613	24	0	74	3
15	美麻支所	36	3,333	129	97	3,654	141
16	除雪基地		613	24	0	644	26
17	切久保重機車庫		36	1	0	41	2
18	舟場車庫		36	1	0	41	2

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設 名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第 1 期	第 2 期
1	市庁舎				庁舎空 調改修 140,000	照明 LED 化 160,000	東庁舎 エレベータ ー改修 7,000	継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
2	防 災 倉 庫							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
3	消 防 団 詰 所 ・ 車 庫				源汲積載 車庫普 通財産所 管換 源汲自治 会へ譲渡			各施設 ごと建 替え・ 継続・ 廃止・ 移転・ 統合を 判断	各施設 ごと建 替え・ 継続・ 廃止・ 移転・ 統合を 判断
		適正な維持管理等に努めるとともに、管轄の消防団等と協議を行い、各施設の方向性を検討する。							
4	消 防 器 具 置 場	道海戸器 具置場解 体 330						各施設 ごと建 替え・ 継続・ 廃止・ 移転・	各施設 ごと建 替え・ 継続・ 廃止・ 移転・

								統合を 判断	統合を 判断
		適正な維持管理等に努めるとともに、管轄の消防団等と協議を行い、各施設の方向性を検討する。							
5	情報センター				空調設備改修 10,000	蛍光灯LED化 7,000	エレベーター更改 17,000	継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
6	環境プラント	新施設等 検討		焼却場 解体	新施設 建設			継続	継続
		事務所棟・車庫等は現在も使用しているため、適切な維持管理により長寿命化を図る。しかし、クリーンプラントが廃止された場合には併せて廃止又は譲渡について検討。							
7	グリーンパーク	水処理設備修繕 4,500						継続	継続
		適切な維持管理による長寿命化を図る。なお、第3期埋立地建設及び管理運営は広域連合により進められる計画。							
8	クリーンプラント	し尿処理施設修繕 523	4,281	57,773	19,575	24,583	4,343	継続	継続
		下水道接続検討							
		現在予定されている令和17年度の下水道接続に向けて、施設の長寿命化に努めながら維持管理コストの削減を図る。							
9	スノーステーション							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
10	大新田資材置場							継続	建替え
		施設の老朽化を踏まえ、除雪機・重機の保管施設の確保のため、建替えを検討する。							
11	平野球場倉庫							継続	継続
		倉庫1、2、3は、人が駐在する施設ではないため、可能な限り長寿命化を図る。							
12	八坂支所					あり方 等検討		継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
13	大平重機車庫							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。 地区土嚢置場の役割あり。							
14	バス車庫(大平)							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
15	美麻支所						照明LED化	継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
16	除雪基地	シャッター修繕 800						継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
17	切久保重機車庫							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
18	舟場車庫				譲渡等の 検討			継続	継続
		さざなみのあり方を検討するなかで譲渡についても検討を進める。							

1 1 公営住宅

(1) 施設別状況

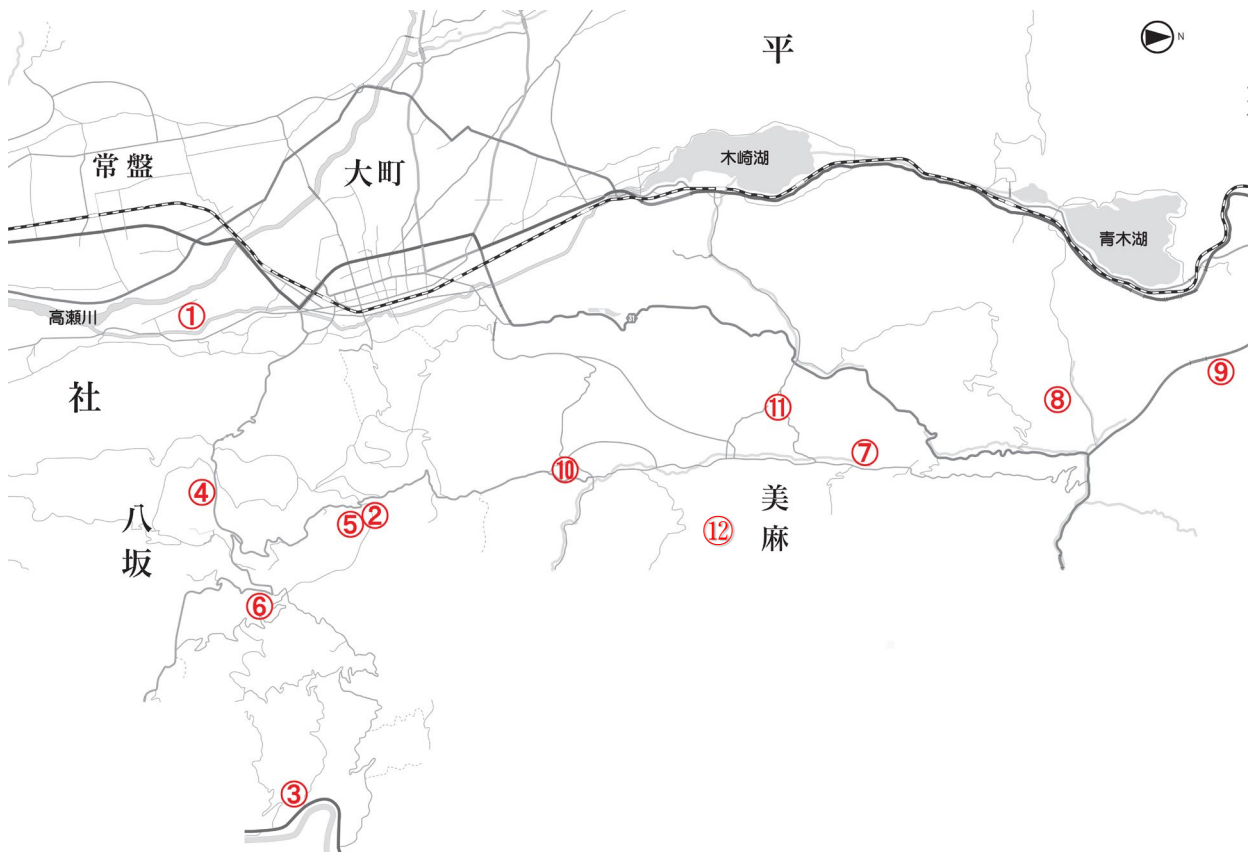
No	施設名称・棟名称		延床 面積(㎡)	構造	建築 年	耐震 履歴	経過	劣化 結果	4 分類	担当課
1	雇用促進住宅サンコーポラス大町	1号棟	2,501.83	R C造	H10	不要	26	B	①	建設課
		駐輪場(1号棟用)	151.05	S造	H10	不要	26	B		
		2号棟	2,488.78	R C造	H10	不要	26	B		
		駐輪場(2号棟用)	151.05	S造	H10	不要	26	B		
		集会所・受水槽室	143.00	R C造	H10	不要	26	B		
2	定住促進住宅大門団地	1号	80	W造	H12	不要	25	A	①	八坂支所
		2号	80	W造	H13	不要	24	A		
		3号	114.4	W造	H13	不要	24	A		
3	定住促進住宅野平団地	1・2号	114	W造	H10	不要	27	A	①	
		3号	80	W造	H12	不要	25	A		
		5・6号	160	W造	H13	不要	24	A		
		7・8号	160	W造	H14	不要	23	A		
		9・10号	158.96	W造	H27	不要	10	A		
		11・12号	158.96	W造	H28	不要	9	A		
4	定住促進住宅明野団地	1・2号	114	W造	H10	不要	28	A	①	
		集合住宅	224	R C造	H12	不要	26	A		
5	定住促進住宅切久保団地	A・B棟	158.96	W造	H26	不要	11	A	①	
6	定住促進住宅矢下団地	1号	79.48	W造	H28	不要	9	A	①	
		2・3号	158.96	W造	H29	不要	7	A		
7	定住促進住宅板沢団地	1・2号	158.96	W造	R2	不要	5	A	①	
8	定住促進住宅湯の海団地	1・2号	120	W造	S51	実施済	49	B	②	
9	定住促進住宅旭団地	集合住宅	779	R C造	H12	不要	25	B	①	
10	定住促進住宅川手住宅	住宅	85.29	W造	S51	未実施	49	B	②	美麻支所
		倉庫	37.14	W造	不明	未実施	-	B		
		車庫	14.70	S造	不明	未実施	-	B		
11	定住促進住宅桜台団地	A～C棟	281.49	W造	H25	不要	12	A	①	
12	定住促進住宅新行団地	A～C棟	238.44	W造	H30	不要	7	A	①	
13	定住促進住宅二重団地	A～C棟	238.44	W造	R4	不要	3	A	①	

延床面積合計 9,230.89 m²

※市営住宅（大原・大原2号・中原・大新田・借馬・館の内・明野・西原・向山・西平・矢久・中村・本村・花尾）は、個別に策定した大町市営住宅等整備計画による。

※雇用促進住宅（サンコーポラス大町）は大町市公営住宅等長寿命化計画による。

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	雇用促進住宅サコホーラス大町	・住宅を賃貸し、勤労者の生活及び就業の安定を図る役割
2	定住促進住宅大門団地	I ターン者等移住者の定住のための公営住宅としての役割
3	定住促進住宅野平団地	
4	定住促進住宅明野団地	
5	定住促進住宅切久保団地	
6	定住促進住宅矢下団地	
7	定住促進住宅栃沢団地	
8	定住促進住宅湯の海団地	
9	定住促進住宅旭団地	
10	定住促進住宅川手住宅	
11	定住促進住宅桜台団地	
12	定住促進住宅新行団地	
13	定住促進住宅二重団地	

②施設の現状と課題

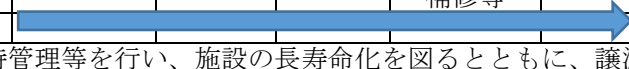
NO	施設名	施設の現状と課題
1	雇用促進住宅サコホーラス大町	・長寿命化計画により適正な維持管理を行う。
2	定住促進住宅大門団地	・適正な維持管理を行い、施設の長寿命化が必要 ・築8年以上が経過し入居5年以上の入居者は、施設の譲渡対象となる。 ・適正な維持管理を行い、施設の長寿命化が必要 ・築8年以上が経過し入居5年以上の入居者は、施設の譲渡対象となる。
3	定住促進住宅野平団地	
4	定住促進住宅明野団地	
5	定住促進住宅切久保団地	
6	定住促進住宅矢下団地	
7	定住促進住宅栃沢団地	

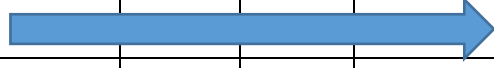
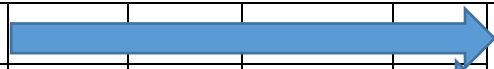
8	定住促進住宅湯の海団地	・適正な維持管理を行い、施設の長寿命化が必要 ・築8年を経過し入居5年以上の入居者は、施設の譲渡対象となる。
9	定住促進住宅旭団地	・長寿命化計画により適正な維持管理を行う。
10	定住促進住宅川手住宅	・適正な維持管理を行い、施設の長寿命化が必要 ・築8年以上が経過し入居5年以上の入居者は、施設の譲渡対象となる。
11	定住促進住宅桜台団地	
12	定住促進住宅新行団地	
13	定住促進住宅二重団地	

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況 (人)				R 6 維持管理 (千円)		利用者1人コスト (円)	市民1人コスト (円)
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		
1	雇用促進住宅サンコーポラス大町	入居者数	64,970	44,895	49,640	32,387	8,623	-479	-945
2	定住促進住宅大門団地	入居者数	2,190	2,196	3,162	952	746	-65	-8
3	定住促進住宅野平団地	入居者数	13,505	11,614	10,950	3,493	1,017	-226	-98
4	定住促進住宅明野団地	入居者数	2,920	1,830	2,179	1,155	504	-229	-26
5	定住促進住宅切久保団地	入居者数	3,285	3,294	3,285	744	245	-152	-20
6	定住促進住宅矢下団地	入居者数	3,650	3,660	3,650	1,116	329	-216	-31
7	定住促進住宅栢沢団地	入居者数	2,920	2,928	2,920	624	1,186	192	22
8	定住促進住宅湯の海団地	入居者数	1,460	1,587	1,460	240	302	116	42
9	定住促進住宅旭団地	入居者数	8,851	8,418	8,760	3,360	1,433	1,247	-220
10	定住促進住宅川手住宅	入居者数	730	352	730	120	222	36	140
11	定住促進住宅桜台団地	入居者数	3,650	3,660	3,650	996	201	15	-218
12	定住促進住宅新行団地	入居者数	3,650	3,660	3,650	1,001	186	0	-223
13	定住促進住宅二重団地	入居者数	3,650	3,660	3,650	996	186	0	-222

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第1期	第2期
1	雇用促進住宅サンコーポラス大町					長寿命化計画の見直し		継続	継続
				管理委託検討					
		入居率が8～9割とニーズが高い施設のため、適切な維持管理による長寿命化を進める。							
2	定住促進住宅大門団地	譲渡の検討						継続譲渡	継続譲渡
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、譲渡希望があれば譲渡する。							
3	定住促進住宅野平団地	譲渡の検討						継続譲渡	継続譲渡
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、譲渡希望があれば譲渡する。（3棟譲渡）							
4	定住促進住宅明野団地					屋根の補修等		継続譲渡	継続譲渡
		譲渡の検討							
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、譲渡希望があれば譲渡する。							
5	定住促進住宅切久保団地	譲渡の検討						継続譲渡	継続譲渡
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、譲渡希望があれば譲渡する。							
6	定住促進	譲渡の検討						継続	継続譲渡

	住宅矢下 団地	適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、譲渡希望があれば譲渡する。							
7	定住促進 住宅栃沢 団地	譲渡の 検討						継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
8	定住促進 住宅湯の 海団地	譲渡決定後屋根 塗装実施						継続	譲渡
		譲渡の 検討							
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、譲渡を進める。							
9	定住促進 住宅旭団 地							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
10	定住促進 住宅川手 住宅	譲渡決定後屋根 塗装実施						継続	譲渡
		譲渡の 検討							
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、譲渡を進める。							
11	定住促進 住宅桜台 団地		譲渡決定後屋根 塗装実施					継続	譲渡
		譲渡の 検討							
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、譲渡を進める。							
12	定住促進 住宅新行 団地						譲渡の 検討	継続	譲渡
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、譲渡を進める。							
13	定住促進 住宅二重 団地							継続	譲渡
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、譲渡を進める。							

12 道路・橋りょう

以下の計画については、個別に策定及び策定予定しています。

(1) 個別に計画を策定している施設等

- ①大町市林道橋梁長寿命化修繕計画【平成25年度策定】
- ②大町市橋梁長寿命化修繕計画【令和5年度改定】
- ③大町市舗装長寿命化修繕計画【令和5年度策定】
- ④大町市トンネル長寿命化修繕計画【平成30年度策定】
- ⑤大町市農業用水利施設長寿命化計画【令和5年度策定】

1 3 上下水道施設

以下の計画については、個別に策定及び策定予定しています。

(1) 個別に計画を策定している施設等

- ①大町市大町浄水センター長寿命化計画【平成 22 年度策定】
- ②大町市大町浄水センター耐震実施計画【平成 25 年度策定】
- ③大町市雨水整備基本計画【平成 25 年度策定】
- ④大町市農業集落排水事業最適整備構想【平成 28 年度策定】
- ⑤大町市水道事業基本計画【平成 29 年度策定】
- ⑥大町市水道事業アセットマネジメント計画【平成 29 年度策定】
- ⑦大町市水道事業経営変更認可計画【令和元年度策定】
- ⑧大町市簡易水道事業経営変更認可計画【令和元年度策定】
- ⑨大町市水道ビジョン【令和元年度策定】
- ⑩大町市公共下水道事業ストックマネジメント計画【令和 2・3 年度策定】
- ⑪大町市公共下水道事業経営戦略【令和 6 年度策定】

(2) 今後、個別に計画策定を予定している施設等

- ①大町市水道ビジョン【令和 7 年度改訂】
- ②大町市公共下水道事業雨水渠ストックマネジメント計画【令和 8 年度策定予定】

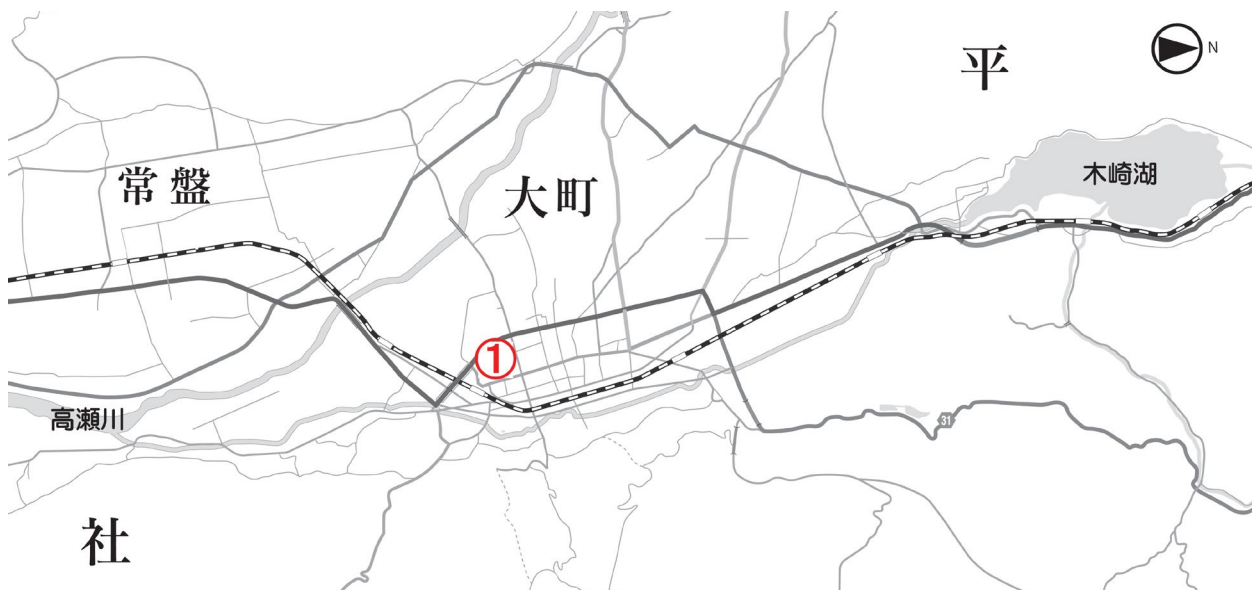
1 4 病院施設

(1) 施設別状況

NO	施設名称・棟名称		延床面積	構造	建築年	耐震履歴	経過	劣化結果	4分類	担当課
1	大町総合病院	西棟	6,805.70	R C造	S46	実施済	54	C	②	大町総合病院
		東診療棟	824.20	R C造	S54	実施済	46	B		
		整形・リハビリテーション棟	1,278.51	R C造	S57	不要	43	B		
		西カルテ庫	53.83	S造	S61	不要	39	C		
		東棟	6,342.34	R C造	H6	不要	31	C		
		西棟付属棟	499.47	S造	H13	不要	24	C		
		厨房棟	770.24	S造	H24	不要	13	A		
		南棟	1,661.62	R C造	H27	不要	10	A		
		感染症病床	244.44	S造	H5	不要	32	C		
		居宅介護支援事業所	161.69	S造	H3	不要	34	C		
		訪問看護ステーション	93.96	S造	H5	不要	32	C		

延床面積合計 18,736.00 m²

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	大町総合病院	- 市民の健康保持に必要な医療の提供 - 高齢化が進む大北医療圏域の地域医療を支える役割 - 災害拠点病院として、傷病者の受入や医療救護班の派遣など住民の生命を守る役割

②施設の現状と課題

NO	施設名	施設の現状と課題
1	大町総合病院	昭和 46 年建設の西棟をはじめ、各種設備等の老朽化により当面は計画的な営繕保守に努めながら、医療需要等を考慮し施設の規模や機能、資金計画など施設の建替えに向けた総合的な検討が必要

(4) 施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況（人）				R 6 維持管理 歳出（千円）
		指標	R 4	R 5	R 6	
1	大町総合病院	利用者数	159,780	159,985	163,403	250,407

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第 1 期	第 2 期
1	大町総合病院	直流・部 停電装置 交換 40,000	西棟附 属棟給 湯・空 調設備 改修 21,670	非常用 直流電 源装置 更新 19,250	医療ガス 設備更新 8,635、 建替え等 の検討及 び市側と の協議	電 話 交 換 機 設 備 更 新 17,600、 西 棟 非 常 電 源 装 置 蓄 電 池 更 新 2,500	冷温水 発生機 更新 110,000 、東棟 非常電 源装置 蓄電池 更新	継続	継続

							3,000、 外来防 火シャ ッター 修繕 1,000		
						建替え 等の検 討			
		付帯設備 修繕 10,000	付帯設備 修繕 10,000						
建替えを視野に入れた適切な維持管理やライフサイクルコストの縮減、計画的な 予防保全措置等を行い、具体的な計画を検討していく。									

1 5 温泉引湯供給施設

以下の計画については、個別に策定及び策定予定しています。

(1) 個別に計画を策定している施設等

①大町市温泉引湯事業施設維持修繕計画【平成 22 年度策定・令和 2 年度更新】

(2) 今後、個別に計画策定を予定している施設等

①大町市温泉引湯事業経営戦略【令和 7 年度策定予定】

②大町市温泉供給事業施設維持管理修繕計画【令和 7 年度策定予定】

1 6 その他の施設

(1) 施設別状況

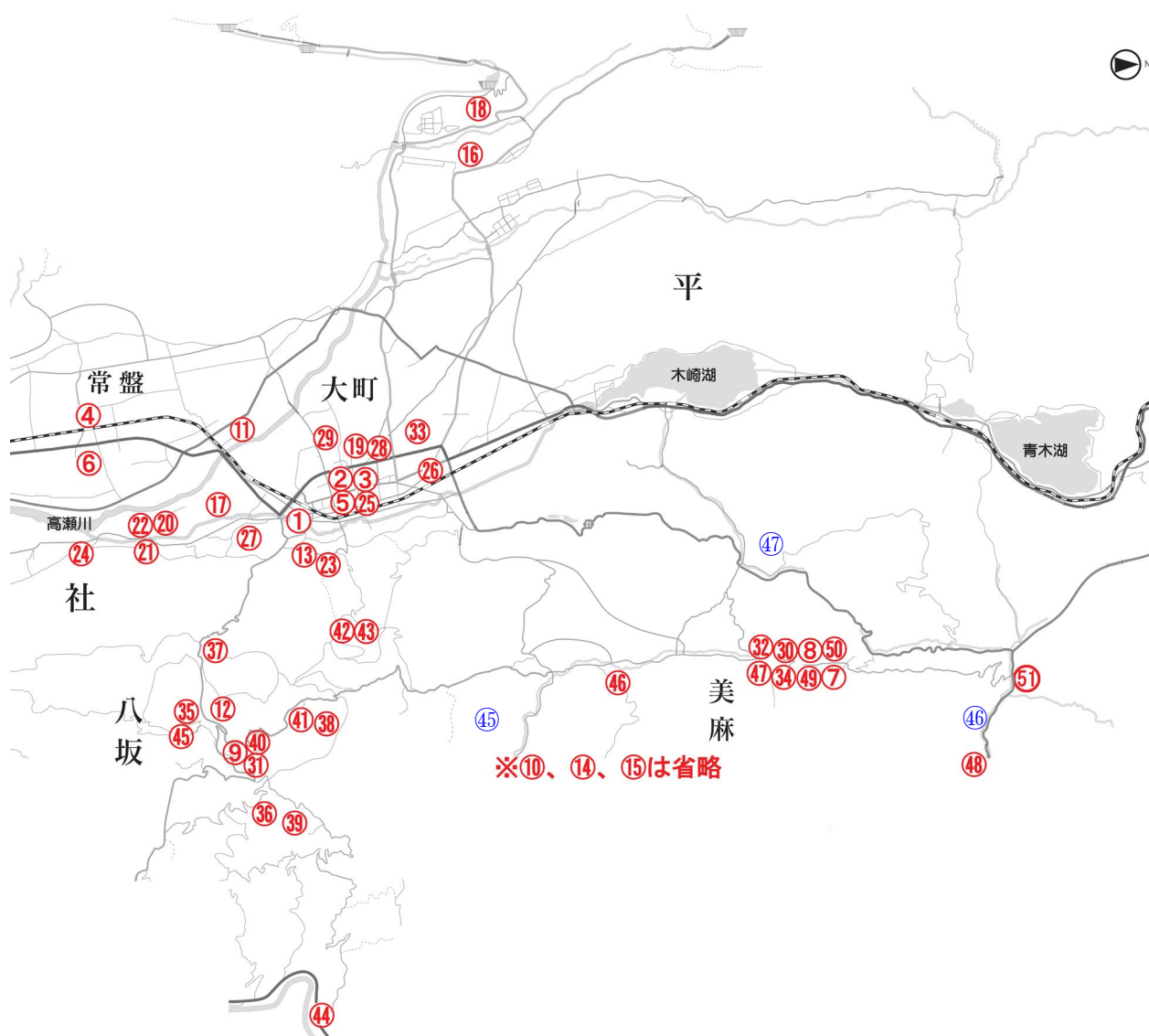
NO	施設名称・棟名称		延床 面積 (㎡)	構造	建築 年	耐震 履歴	経過	劣化 結果	4 分類	担当課
1	旧旭町教員住宅	1～6 号棟	261.6	S 造	S 47	未実施	53	B	④	企画財 政課
2	旧勤労者福祉センター		441.45	W造	S 41	未実施	58	B	④	
3	旧社会就労 センター	事務所・作業所	285.71	S 造	S 44	未実施	56	B	④	
		作業所	162.92	W造	S 44	未実施	56	B		
4	常盤駐在所		75.26	W造	S 62	不要	37	B	①	
5	囲基村会館		209.79	W造	S 61	不要	38	C	④	
6	旧下一共同作業所		123.12	W造	S 50	未実施	50	C	④	市民課
7	美麻診療所医師住宅（旧北原教員住宅）		90.8	W造	S 58	不要	42	A	①	
8	旧美麻医師住宅付属車庫		63.77	S 造	H22	不要	15	A	④	
9	旧八坂診療所		388.80	W造	S 56	未実施	43	C	③	
10	八坂診療所医師住宅		82.5	W造	S 57	不要	43	B	②	
11	駐輪場	大町駅前駐輪場	90.72	S 造	H18	不要	19	B	②	
		南大町駅駐輪場	50.4	S 造	H23	不要	14	A		
		常盤駅駐輪場	117	S 造	S 56	不要	44	B		
		沓掛駅駐輪場	45	S 造	S 56	不要	44	B		
		駅前駐車場管理棟	13.20	W造	H2	不要	34	A		
12	旧貝原共同作業所		100.44	W造	S 51	未実施	49	B	④	福祉課
13	堆肥センター	作業所	579.12	S R C 造	H13	不要	24	B	①	生活環 境課
		管理事務所	124	S 造	H26	不要	11	B		
14	霊園管理棟	霊園管理棟	38.88	W造	H6	不要	31	B	②	
		霊園便所	9.72	W造	H6	不要	31	C	②	
		霊園便所	4.5	W造	H25	不要	12	A	③	

15	公衆 トイレ	北大町駅前	4.5	W造	H21	不要	15	A	① ②	
		築場駅前	14.82	W造	H18	不要	18	A		
		南大町駅前	14.57	R C 造	H23	不要	14	A		
		杓掛駅前	3.24	S 造	H16	不要	20	B		
		信濃大町駅前	75.41	R C 造	H18	不要	19	A		
		信濃常盤駅前	14.57	R C 造	H19	不要	17	A		
		海ノ口駅前	8.25	W造	H25	不要	11	A		
16	公衆 トイレ	大町スキー場	40.14	C B 造	H2	不要	35	B	① ②	観光課
		大町温泉郷	54.68	W造	H11	不要	25	A		
		木崎湖駐車場	42.50	C B 造	H1	不要	36	B		
		青木湖	14.63	W造	S 56	不要	43	B		
		仁科神明宮	38.61	W造	H10	不要	27	A		
		中綱湖畔	14.63	W造	S 55	未実施	44	C		
		ラーベン中綱北側	41.40	W造	H6	不要	31	B		
		七倉ダム下	34.55	R C 造	S 55	未実施	44	B		
		七倉登山補導所横	42.33	R C 造	H19	不要	17	A		
		りんごセンター横	51.31	R C 造	H9	不要	28	A		
		海のロキャンプ 場	22.98	W造	R 4	不要	3	A		
		葛温泉	13.97	C B 造	H3	不要	33	B		
		新木崎湖キャンプ 場	34.57	C B 造	H10	不要	26	B		
		大谷原	10.08	W造	H3	不要	34	B		
		爺が岳スキー場	39	C B 造	H3	不要	34	B		
		木崎湖キャンプ 場	44.21	W造	H25	不要	11	A		
		若一王子神社	44.31	W造	H27	不要	10	A		
		霊松寺	10.92	W造	不明	未実施	－	A		
				28.35	W造	R 1	不要	5		
17	公衆トイレ（上原）		42.33	R C 造	H14	不要	22	A	①	農林水産課
18	町川発電所		36.54	S 造	H21	不要	16	A	①	生活環境課
19	八日町公衆トイレ		36.63	R C 造	H9	不要	28		①	建設課
20	館ノ内教員住宅	1～6 棟	261.6	C B 造	S47	未実施	54	B	④	学校教育課
21	幸町教員住宅		797	R C 造	H11	不要	26	A	①	
22	桜田町教員住宅		80.72	W造	S63	不要	37	B	④	
23	前田教員住宅		91	W造	S 55	未実施	45	A	④	美麻支所
24	大平教員住宅	3 号	66	W造	S 53	未実施	46	B	②	学校教育課
25	旧長平教員住宅	1 号	67	W造	S 50	未実施	50		④	美麻支所
		2 号	60	W造	S 49	未実施	51			
26	俵町教員住宅	1～2 号	161.44	W造	S60	不要	40	B	③	学校教育課
		3～4 号	161.44	W造	S62	不要	37	B		
		5～6 号	91.12	W造	H1	不要	35	A		
27	明野教員住宅		224	S 造	H7	不要	30	A	①	八坂支所
28	笹尾加工所		94.4	W造	H14	不要	23	A	③	
29	相川公衆トイレ		26.42	W造	H3	不要	34	B	①	
30	西部加工所		79.5	S 造	H7	不要	30	A	④	
31	旧八坂駐在所	専用住宅	63.18	W造	S 49	未実施	50	B	④	
		簡易附属家	9.93	W造	S 49	未実施	50	B		
32	旧ユニプラスチックス	工場	265.2	S 造	S 56	未実施	43	B	④	
		倉庫	83.6	W造	S 59	不要	40	B		
33	旧カレーハウス（鷹狩山山頂）		284.3	W造	S 58	不要	41	B	④	
34	旧大黒天（鷹狩山山頂）		170.12	W造	S 57	不要	42	B	④	
35	大平マレットゴルフ場休憩施設	休憩所	33	W造	H14	不要	22	A	③	
		公衆トイレ	12.4	W造	H14	不要	22	A		
36	二重沢公園	炊事棟	29.81	W造	H10	不要	27	B	①	美麻支所
		公衆トイレ	30.23	W造	H10	不要	27	B		
37	旧基幹集落センター		624.39	S 造	S 55	未実施	45	C	④	
38	旧農産物加工所	工場	225	S 造	H4	不要	33	B	③	
		集出荷施設	26.49	W造	H4	不要	33	B		
39	旧美麻支所		96	S 造	S 62	不要	38	A	③	
40	美麻トレーニングセンター横車庫		158.36	S 造	H1	不要	36	B	②	

41	旧村営バス車庫	64.8	S造	S 60	不要	40	A	④
42	旧医師住宅	205.99	W造	H1	不要	36	B	④
43	静の桜公園	12.24	W造	H6	不要	30	B	①
44	青具公園	14.44	W造	H1	不要	35	B	①
45	新行水車小屋	19.87	W造	S 61	不要	38	B	①

延床面積合計 8,923.72 m²

(2) 施設の位置



(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	旧旭町教員住宅	・旭町教員住宅を平成 27 年に用途廃止し、普通財産として管理 ・芸術活動発信拠点として、北アルプス国際芸術祭実行委員会に貸付
2	旧勤労者福祉センター	・勤労者福祉センターを平成 16 年に用途廃止し、普通財産として管理 ・高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化等を目的とする北アルプス広域シルバー人材センターに貸付
3	旧社会就労センター	・厚生事業センターを平成 19 年に用途廃止し、普通財産として管理 ・市役所の備品等の仮置き場（倉庫）として使用
4	常盤駐在所	・警察官が駐在し、地域の防犯の拠点
5	囲碁村会館	・共同作業所「ひまわりの家」を平成 14 年に用途廃止し、普通財産として管理 ・「アルプス囲碁村会館」として、日本棋院大町支部に貸付 ・囲碁村推進計画における囲碁の普及活動拠点として、子供から大人まで幅広い世代が利用
6	旧下一共同作業所	・下一共同作業所を平成 25 年に用途廃止し、普通財産として管理 ・市役所の備品等の仮置き場（倉庫）として使用
7	美麻診療所医師住宅 （旧北原教員住宅）	・地域医療を担う医師の住宅としての役割
8	旧美麻医師住宅付属車庫	・美麻地区住民へ貸付
9	旧八坂診療所	・旧建物の転用・存廃について検討
10	八坂診療所医師住宅	・地域医療を担う医師の住宅としての役割
11	駐輪場（大町・南大町、 常盤、沓掛駅）	・自転車通勤通学者が J R を利用する際の駐輪場としての役割
12	旧貝原共同作業所	・日本赤十字社長野県支部の災害救援物資備蓄倉庫として使用 ・被災時の迅速な救援物資の確保を担う。
13	堆肥センター	・循環型社会の形成のため、生ごみの堆肥化及び牛ふん堆肥製造
14	霊園管理棟	・墓地は市町村が設置するものとされており、焼骨を埋蔵するための役割 ・管理資材置き場・作業場の役割 ・霊園利用者のトイレ
15	公衆トイレ（北大町駅他）	・J R 駅前の公衆トイレ
16	公衆トイレ（旧大町スキー場他）	・公衆トイレであり、公共性、必要性は高いが、観光施設としてだけではなく、市民の利用も多いため、一元化した管理体制への移行が必要不可欠である。
17	公衆トイレ（上原）	・現在、わっぱランド来場者のためのトイレとして維持管理を行う。
18	町川発電所	・「大町市地域新エネルギービジョン」に基づき建設し、発電した電力は、し尿処理場で自家消費し、施設運営の効率化を図っている。 ・再生可能エネルギー利用により、二酸化炭素排出量を抑制し、地球温暖化防止対策を推進
19	八日町公衆トイレ	・歩行者や利用者が気軽に休憩ができ、高齢者や障害者も快適に利用できる多目的として利用
20	館ノ内教員住宅	・市内の小中学校に勤務する教職員の住居
21	幸町教員住宅	
22	桜田町教員住宅	
23	前田教員住宅	
24	大平教員住宅	
25	長平教員住宅	
26	俵町教員住宅	
27	明野教員住宅	
28	笹尾加工所	・農作物の加工のための作業施設の役割

29	相川公衆トイレ	・観光客や市民の公衆トイレとしての役割（最寄りにバス停あり）。
30	西部加工所	・農作物の加工のための作業施設の役割 ・施設老朽化により平成 23 年に用途廃止し、普通財産として管理
31	旧八坂駐在所	・I ターン者等の定住のための住宅 ・平成 24 年度に県から無償譲渡
32	旧ユニプラスチックス	・企業等を誘致して市民の働く場を確保する施設
33	旧カレーハウス	・鷹狩山周辺の観光事業、地域振興の活性化に寄与する施設 ・民間事業者が建設し、平成 28 年度に市が寄付を受けた施設
34	旧大黒天	
35	大平マレットゴルフ場休憩施設（便所含む）	・マレットゴルフを通して八坂地区住民の健康増進と交流の場としての役割
36	二重沢公園（炊事棟、便所）	・利用者の利便性向上と、観光客や市民の憩いの場としての役割
37	旧基幹集落センター	・美麻商工会事務所 ・美麻支所倉庫スペース
38	旧農産物加工所	・農作物の加工のための作業施設の役割 ・平成 29 年度におやき加工センターを用途廃止し、普通財産として管理
39	旧美麻支所	・書庫、備品等の倉庫として使用。
40	美麻トレーニングセンター横車庫	・マイクロバス車庫、倉庫、ジビエ工房等の役割
41	旧村営バス車庫	・指定管理者の送迎バスの車庫として使用
42	旧医師住宅	・移住定住促進施設
43	静の桜公園	・利用者の利便性向上と、観光客や市民の憩いの場としての役割
44	青具公園	・利用者の利便性向上と、観光客や市民の憩いの場としての役割
45	新行水車小屋	・転作作物として、ソバ栽培の普及を図るとともに、地域の観光資源としての役割

②施設の現状と課題

NO	施設名	施設の現状と課題
1	旧旭町教員住宅	・建築から 53 年が経過し、施設は老朽化 ・現在の賃貸借契約者との貸付終了後に、施設の譲渡等が行えるよう検討が必要
2	旧勤労者福祉センター	・建築から 58 年が経過し、施設は老朽化 ・現在の賃貸借契約者との貸付終了後に、施設の譲渡等が行えるよう検討が必要
3	旧社会就労センター	・市役所の備品等の仮置き場（倉庫）として使用 ・施設の除却の時期の検討が必要
4	常盤駐在所	・市内の他地域の駐在所の建物は、市有地に県が建設しており、今後、常盤駐在所のあり方等について県との調整が必要
5	囲碁村会館	・建築から 38 年が経過し、施設は老朽化している。 ・現在の賃貸借契約者との貸付終了後に、施設の譲渡等が行えるよう検討が必要
6	旧下一共同作業所	・市役所の備品等の仮置き場（倉庫）として使用 ・施設の除却の時期の検討が必要
7	美麻診療所医師住宅（旧北原教員住宅）	・建物自体の建築年数は 42 年経過しているが、平成 27 年に全面改修を行っており、当面は継続使用可能である。
8	旧美麻医師住宅付属車庫	・地域で活用方法について検討を進めている。今後、転用・譲渡等の検討が必要
9	旧八坂診療所	・旧建物の転用・譲渡及び存廃について検討が必要
10	八坂診療所医師住宅	・建築から 43 年経過しており、当面は修繕等行いながら維持管理を図る。また、転用や今後の使用方法等について検討が必要
11	駐輪場（大町・南大町、常盤、沓掛駅）	・施設の建設年数は異なるが、駐輪場としての機能は十分にある。 ・今後は、劣化箇所の早期修繕を行い施設の長寿命化を図るとともに、施設の現状や課題を踏まえた運営方法の見直しの検討が必要
12	旧貝原共同作業所	・倉庫として使用しており、多少の劣化等は問題ありません。
13	堆肥センター	・PFI 方式により堆肥センターの改修を行い、その後指定管理により運営

		指定管理期間は、令和6年度より新たに5年延長し、更に稼働率の向上を図る。
14	霊園管理棟	- 聖地の利用率は下がっており、空き区画が140程度 - 合葬式墳墓についての利用は増加傾向 - 今後、使用者の承継者がいない等の理由で、墓じまいや放置される聖地が増えることが予想される。
15	公衆トイレ（北大町駅他）	小修繕を行いながら長寿命化を図るとともに、清掃による清潔な施設の維持を図る。
16	公衆トイレ（旧大町スキー場他）	現在の設置環境等を再精査する中で、継続や建替等の検討が必要だが、観光施設としてだけではなく、市民の利用も多いため、一元化した管理体制への移行が必要不可欠である。
17	公衆トイレ（上原）	現在、わっぱランド来場者のためのトイレとして維持管理を行う。
18	町川発電所	故障による長期間の発電停止を未然に防止するためのメンテナンスを計画的に行う。
19	八日町公衆トイレ	公園施設として、長寿命化を図りながら、維持管理を行う。
20	館ノ内教員住宅	- 建設から54年が経過し、設備等の老朽化が進行 - 施設の老朽化に加え、教職員による住宅利用率が低下しているため、他の教員住宅と合わせて計画的に解体撤去を進める。 - 不動産関連による再利用の希望があれば、売買等も検討する。
21	幸町教員住宅	- 他の教員住宅の使用率が下がっている中、当住宅の使用率は高い。 - 使用する教職員の住環境が快適になるよう維持管理を行う。 - 共用部分等のLED化を計画的に進める。
22	桜田町教員住宅	- 建設から37年が経過し、設備等の老朽化が進行 - 施設の老朽化に加え、教職員による住宅利用率が低下しているため、他の教員住宅と合わせて計画的に解体撤去を進める。 - 不動産関連による再利用の希望があれば、売買等も検討する。
23	前田教員住宅	- 建設から45年が経過し、施設の老朽化に加え、教職員による住宅利用率が低下しているため、他の教員住宅と合わせて計画的に解体撤去を進める。 - 令和6年度用途廃止、美麻支所へ所管替
24	大平教員住宅	- 建設から46年が経過し、施設の老朽化に加え、教職員による住宅利用率が低下しているため、他の教員住宅と合わせて計画的に解体撤去を進める。 - 令和7・8年度除却予定
25	長平教員住宅	- 施設の老朽化に加え、教職員による住宅利用率が低下しているため、他の教員住宅と合わせて計画的に解体撤去を進める。 - 令和4年4月除却
26	俵町教員住宅	- 建設から40年が経過し設備等の老朽化が進んでおり、入居者も減少しているため、他の教員住宅と合わせて計画的に解体撤去を進める。 - 不動産関連による再利用の希望があれば、売買等も検討する。
27	明野教員住宅	教職員による住宅利用率が低下しているが、適切な維持管理を行うとともに、用途変更や売買等による除却についても検討する。
28	笹尾加工所	- 隣接している笹尾集会所と建物がつながっている状況 - 近隣農業者のプールの加工以外の利用がない状況 - 利用状況を踏まえ譲渡等の検討が必要
29	相川公衆トイレ	- 築34年の施設であり、適切な維持管理を行うことにより、施設の長寿命化を図る。 - 洋式便器への改修には躯体工事を伴うことから、多額な経費が必要 - 通常管理は地元近隣住民に委託しており、管理方法の検討が必要
30	西部加工所	利用希望があれば貸し出ししているが、利用者は毎回ほぼ同じ団体で毎年固定化されており、利用状況を踏まえ譲渡の検討が必要
31	旧八坂駐在所	施設の老朽化は進んでいるため、利用者の要望等を踏まえて、今後、譲渡・廃止等の検討が必要
32	旧ユニプラスックス	施設の老朽化は進んでいるため、利用者の要望等を踏まえて、今後、譲渡等の検討が必要

33	旧カレーハウス（鷹狩山山頂）	- 平成 29 年度に開催された国際芸術祭では、作品の展示場として活用したが、その後は利用されていない。 - 今後、施設のあり方の検討が必要
34	旧大黒天（鷹狩山山頂）	- 平成 29 年度に開催された国際芸術祭で、施設内部全体が作品に模様替えされており、令和 3 年、6 年の芸術祭にも利用した。その後も作品は取り壊さず、現在も観光文化課に貸出中 - 今後、施設のあり方の検討が必要
35	大平マレットゴルフ場休憩施設（便所含む。）	- 特定の近隣住民が利用 - 利用状況を踏まえ譲渡等の検討が必要
36	二重沢公園（炊事棟、便所）	築 27 年が経過しており、部分的な修繕が必要
37	旧基幹集落センター	築 45 年が経過していることで壁面に多数のクラックが生じ、また一部で雨漏りが発生しており、他の施設との統合や除却の時期の検討が必要
38	旧農産物加工所	- 補助金の適正化に関する法律における処分制限期間中のため、自治会に無償貸付をしている。 - 施設を活用した地域振興を図り、制限期間（令和 5 年度まで）後は譲渡の検討が必要
39	旧美麻支所	築 38 年が経過し、屋根外壁等の老朽化が進んでおり、除却の時期の検討が必要
40	美麻トレーニングセンター横車庫	築 36 年が経過し、屋根等の老朽化が進んでおり、最低限の補修を行いながら長寿命化を図る必要がある。
41	旧村営バス車庫	築 40 年を経過しているが、最低限の補修を行いながら将来的な車庫の統廃合による除却の検討が必要
42	旧医師住宅	- 令和 3 年度に市民課より所管替えされ、令和 5 年度から一般社団法人へ貸付している。 - 今後、譲渡等の検討が必要
43	静の桜公園	公園施設として、長寿命化を図りながら維持管理を行う。
44	青具公園	公園施設として、長寿命化を図りながら維持管理を行う。
45	新行水車小屋	観光施設として、長寿命化を図りながら維持管理を行う。

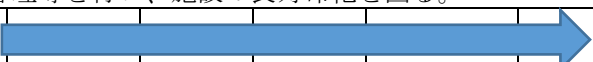
（４）施設の利用状況及び運営管理に係る経費

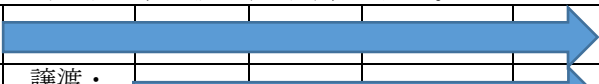
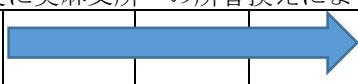
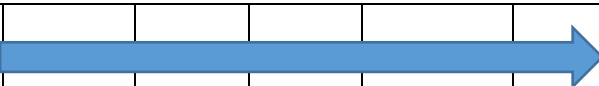
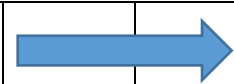
NO	施設名称	施設の利用状況（人）				R 6 維持管理（千円）		利用者 1 人コスト（円）	市民 1 人コスト（円）
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		
1	旧旭町教員住宅	-	-	-	-	-	491	-	20
2	旧勤労者福祉センター	-	-	-	-	-	491	-	20
3	旧社会就労センター	-	-	-	-	-	491	-	20
4	常盤駐在所	入居者数	365	365	1	290	491	201,000	8
5	囲碁村会館	利用者数	1,025	1,049	1,082	80	18	-57	-406
6	旧下一共同作業所	-	-	-	-	-	491	-	20
7	美麻診療所医師住宅（旧北原教員住宅）	入居者数	365	365	365	92	618	1,441	21
8	旧美麻医師住宅付属車庫	-	-	-	243	0	613	2,523	24
9	旧八坂診療所	利用者数	3,593	2,229	1,005	0	2,708	13,297	531
10	八坂診療所医師住宅	入居者数	365	365	153	20	618	1,562	24
11	駐輪場（大町・南大町、常盤、沓掛駅）	利用者数	39,230	39,200	39,200	0	528	13	21
12	旧貝原共同作業所	-	-	-	-	-	-	-	-
13	堆肥センター	-	-	-	0	666	17,700	-	805
14	霊園管理棟	-	-	-	0	6,838	2,498	-	-173
15	公衆トイレ（北大町駅他）	-	-	-	0	209	9,563	-	372
16	公衆トイレ（旧大町駅一帯他）	-	-	-	0	0	3,768	-	150
17	公衆トイレ（上原）	-	-	-	0	0	525	-	21

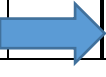
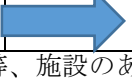
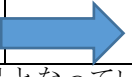
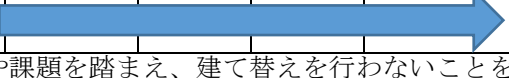
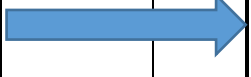
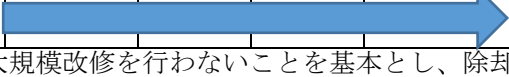
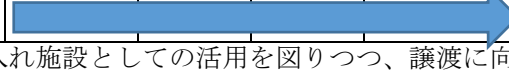
18	町川発電所	-	-	-	180	10,326	3,492	-37,967	-272
19	八日町公衆トイレ	-	-	-	-	0	445	-	18
20	館ノ内教員住宅	入居者数			0	0	613	-	24
21	幸町教員住宅	入居者数	5	5	6	1,576	899	-112,833	-27
22	桜田町教員住宅	入居者数			0	0	613	-	24
23	前田教員住宅	入居者数			-	-	-	-	-
24	大平教員住宅	入居者数			0	0	613	-	24
25	長平教員住宅	入居者数		-	-	-	-	-	-
26	俵町教員住宅	入居者数	3	1	4	595	948	88,250	14
27	明野教員住宅	入居者数	3	1	0	0	679	-	27
28	笹尾加工所	-	-	-	-	-	41	-	2
29	相川公衆トイレ	-	-	-	-	-	261	-	10
30	西部加工所	利用者数	116	198	138	41	245	1,478	8
31	旧八坂駐在所	入居者数	1,825		1,825	120	613	270	20
32	旧ユニプラスックス	-	-	-	0	363	613	-	14
33	旧カレーハウス(鷹狩山山頂)	利用者数	-	-	-	-	613	-	24
34	旧大黒天(鷹狩山山頂)	利用者数	-	-	7,934	0	613	-	24
35	大平フレットゴルフ場休憩施設	-	-	-	-	-	78	-	3
36	二重沢公園	-	-	-	-	0	649	-	26
37	旧基幹集落センター	利用者数	-	-	0	105	477	-	15
38	旧農産物加工所	-	-	-	-	0	186	-	7
39	旧美麻支所	-	-	-	0	0	172	-	9
40	美麻トレーニングセンター横車庫	-	-	-	-	0	613	-	24
41	旧村営バス車庫	-	-	-	0	0	613	-	24
42	旧医師住宅	-	-	-	0	0	618	-	25
43	静の桜公園	-	-	-	-	0	702	-	28
44	青具公園	-	-	-	-	0	587	-	23
45	新行水車小屋	-	-	-	-	0	791	-	31

(5) 施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【対策内容、費用(千円)】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第1期	第2期
1	旧旭町教員住宅					廃止等の検討		継続	廃止
	建替えを行わないことを基本的な考え方とし、第2期計画期間内に除却のうえ土地は売却する。								
2	旧勤労者福祉センター		譲渡等の検討					継続	譲渡
	建替えや大規模改修等を行わないことを基本的な考え方とし、第2期計画期間内に譲渡又は廃止とする。								
3	旧社会就労センター							継続	廃止
	土地譲渡に向けた検討								
	第2期計画期間内に除却のうえ土地は売却する。								
4	常盤駐在所					施設のあり方等の検討		継続	譲渡
	譲渡を基本とし、今後の常盤駐在所のあり方等について、県と協議を行う。								
5	囲碁村会館		タイルカーペット修繕 616	屋根塗装 2,695			外壁軒天塗装修繕 5,000	継続	継続
	建て替えを行わないことを基本的な考え方とし、外壁塗装の早期な完了に加え、蛍光灯の製造販売停止に伴う照明機器のLED化が必要となる。順次交換を進めるとともに、維持管理修繕を続けながら、施設の長寿命化を図る。								

6	旧下一共同作業所					除却 2,500		継続	廃止		
		土地譲渡に向けた検討									
		第2期計画期間内に除却のうえ売却。									
7	美麻診療所医師住宅（旧北原教員住宅）							継続	継続		
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。									
8	旧美麻医師住宅付属車庫	転用等に向けた検討				転用等検討		譲渡	譲渡		
		現在、施設を貸付しているため転用、譲渡を検討する。									
9	旧八坂診療所	壁補修等 2,044	擁壁修繕 913			建物の転用・存廃 検討		廃止	廃止		
		施設の状況や地域の課題を踏まえ、旧建物の転用・譲渡を検討し利用が見込めなければ廃止する。									
10	八坂診療所医師住宅					転用等 検討	検討	継続	継続		
		適切な維持管理等を行い、今後のあり方を検討する。									
11	駐輪場（大町・南大町、常盤、沓掛駅）							継続	継続		
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。									
12	旧貝原共同作業所							継続	継続		
		安全面に留意して使用する。また、建て替え及び大規模改修等を行わないことを基本的な考え方とし、廃止及び移転等について検討する。									
13	堆肥センター			指定管理者の 選定				継続	継続		
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。									
14	霊園管理棟	あり方の 検討						継続	継続		
		適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図る。									
15	公衆トイレ（北大町駅他）							継続	継続		
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。									
16	公衆トイレ（旧大町スキー場他）	中綱湖畔、ラーバン中綱北側、海ノロキキャンプ場検討	中綱湖畔、ラーバン中綱北側、海ノロキキャンプ場検討	中綱湖畔、ラーバン中綱北側検討	中綱湖畔、ラーバン中綱北側検討	中綱湖畔、ラーバン中綱北側、旧木崎湖キャンプ場検討	中綱湖畔、ラーバン中綱北側、旧木崎湖キャンプ場検討	継続	統合		
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図るとともに、各施設の方向性を検討する。・旧木崎湖キャンプ場トイレについては、地元からの陳情もあり、令和9年以降撤去に向けた検討を行う。・中綱湖畔トイレについては、近くの築場駅トイレがあることから統合に向けた検討を行う。・ラーバン中綱北側トイレについては、地元中綱自治会が管理しているが、休止状態が続いており、中綱湖畔トイレ同様、統合に向けた検討を行う。									
17	公衆トイレ（上原）	あり方の 検討		温水路トイレ修繕 4,950				継続	継続		
											
		令和5年にトイレの排水処理施設を修繕したため、今後も適切な維持管理等に努									

		める。また、トイレを含む周辺自然園の運営管理について NPO 法人と連携を図る。									
18	町川発電所	除塵機修繕 647	無停電装置修繕 12,848	水位計他 修繕 26,796	発電機用 軸受修繕 22,000			継続	継続		
		適切な維持管理及び計画的な予防保全措置等を行い、施設の長寿命化を図る。									
19	八日町公衆トイレ							継続	継続		
		当面の間、施設の長寿命化を図り運営しつつ、コストの縮減等も検討していく。									
20	館ノ内教員住宅	転用・廃止の検討・調整						廃止			
		転用・廃止									
		総合管理計画の第一期の期間内に廃止を行うこととし、廃止及び除却もしくは他の事業に供するための所管換え、希望があれば売買による譲渡について検討する。									
21	幸町教員住宅	長寿命化策・管理方法の検討						継続	継続		
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。									
22	桜田町教員住宅	転用・廃止の検討・調整						廃止			
		譲渡・廃止									
		総合計画の第1期の期間内に廃止をおこなうこととし、廃止及び除却もしくは他の事業に供するための所管換え、希望があれば売買による譲渡について検討する。									
23	前田教員住宅	転用・廃止の検討・調整					所管換えにより廃止	廃止			
		・総合管理計画の第一期の期間内に廃止を行うこととし、廃止及び除却もしくは他の事業に供するための所管替えについて検討する。 ・令和6年度に美麻支所への所管換えにより廃止。									
24	大平教員住宅	廃止の検討・調整				解体撤去 2,000	解体撤去 2,500	廃止			
		・総合管理計画の第一期の期間内に廃止を行うこととし、廃止及び除却等の時期について検討する。 ・令和7・8年度に解体撤去を実施し、廃止予定。									
25	長平教員住宅	転用・廃止の検討・調整	廃止					廃止			
		・総合管理計画の第一期の期間内に廃止を行うこととし、廃止及び除却もしくは他の事業に供するための所管替えについて検討する。 ・令和4年度廃止。									
26	俵町教員住宅	転用・廃止の検討・調整						廃止			
		総合管理計画の第一期の期間内に廃止を行うこととし、廃止及び除却もしくは他の事業に供するための所管替え、希望があれば売買による譲渡について検討する。									
27	明野教員住宅	長寿命化策・管理方法の検討				用途変更、譲渡等の検討		継続	廃止		
		適切な維持管理等を行うとともに、用途変更、譲渡等による除却についても検討する。									
28	笹尾加工所		譲渡・廃止の検討					継続	譲渡		
		地元の要望等を踏まえ検討するが、譲渡できない場合は廃止を視野に検討をさらに進める。									
29	相川公衆トイレ		管理方法の検討				屋根の補修等	継続	継続		

						800			
適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。施設管理の委託内容及び委託費について見直す。									
30	西部加工所	譲渡検討					譲渡・廃止の検討	譲渡	廃止
		年間のほとんどを任意団体に現状のままの条件で貸し出している。団体との協議を重ね譲渡を受けることは困難との回答を得ていることから、解体も視野に引き続き団体と協議を進める。							
31	旧八坂駐在所					譲渡・廃止等		譲渡	譲渡
		賃貸借契約されている方と譲渡について協議を行う。							
32	旧ユンプラス チックス					譲渡等の検討		譲渡	譲渡
		民間への譲渡を進める。							
33	旧カレーハウス (鷹狩山山頂)	有効活用 の検討						継続	転用
		譲渡、賃貸等、施設のあり方を検討する。							
34	旧大黒天 (鷹狩山山頂)	有効活用 の検討						継続	転用
		芸術祭の作品となっていることから、所管換えを視野に入れた施設のあり方を検討する。							
35	大平マレット ゴルフ場休 憩施設(便 所含む。)							継続	継続
		適切な維持管理等を行い、施設の長寿命化を図る。							
36	二重沢公園							継続	継続
		適切な維持管理等を行うとともに、利用者の増加に努める。							
37	旧基幹集 落センター	除却の時期 の検討						継続	廃止
		施設の現状や課題を踏まえ、建て替えを行わないことを基本的な考え方とし、除却等の時期について検討する。							
38	旧農産物 加工所				自治会 へ施設 譲渡の 検討			譲渡	譲渡
		補助金適化法処分制限期間中(令和6年度末)は、既存施設を効率的に活用した地域振興を図ることとし、令和7年度以降の譲渡に向けて検討を進める。							
39	旧美麻支 所	廃止・統合 時期の検討						継続	廃止
		建て替えや大規模改修を行わないことを基本とし、除却等の時期等について検討する。							
40	美麻トレニ ングセンター 横車庫							継続	継続
		適切な維持管理等を行うこととしつつも、建替えや大規模改修等は行わないことを基本的な考え方として、廃止や転用等を検討する。							
41	旧村営バ ス車庫	除却の時期 の検討						継続	廃止
		建て替えや大規模改修を行わないことを基本とし、除却の時期等を検討する。							
42	旧医師住 宅	譲渡等 の検討						譲渡	譲渡
		交流人口受入れ施設としての活用を図りつつ、譲渡に向けた検討・手続きを行っていく。							
43	静の桜公 園							継続	継続
		適切な維持管理等を行うとともに、利用者の増加に努める。							
44	青具公園							継続	継続
		適切な維持管理等を行うとともに、利用者の増加に努める。							
45								継続	継続

新行水車 小屋	部分的な修繕を行い、維持管理に努める。
------------	---------------------

17 通信ケーブル

(1) 施設別状況

NO	施設名	距離 (km)	構造	建築 年	耐震 履歴	経過	劣化 結果	4 分類	担当課
1	イントラネットケーブル	90	光ケーブル	H11	不要	26	A	①	情報交 通課
2	美麻地域ケーブルテレビ幹線	27	同軸ケーブル	H12	不要	25	D	②	
3	美麻地域ケーブルテレビ引込線	2.3	同軸ケーブル	H12	不要	25	D	②	
4	八坂地域ケーブルテレビ幹線	18.5	同軸ケーブル	H18	不要	19	D	②	
5	八坂地域ケーブルテレビ幹線	44	光ケーブル	H18	不要	19	A	①	
6	八坂地域ケーブルテレビ引込線	1.6	同軸ケーブル	H18	不要	19	D	②	
7	大町地域ケーブルテレビ幹線	238	光ケーブル	H21	不要	19	A	①	
8	大町地域ケーブルテレビ引込線	240	光ケーブル	H21	不要	19	A	①	

距離合計 661.4 km

(2) 施設の位置

市内全域

(3) 施設の役割及び現状と課題

①施設の役割

NO	施設名	施設の役割
1	イントラネットケーブル	・市施設の拠点を結ぶ通信回線。基幹系業務システムや財務会計システム・グループウェア等の運用に使用
2	美麻地域ケーブルテレビ幹線	・難視聴地域である美麻地域にケーブルテレビによる映像等を伝送するための幹線としての役割
3	美麻地域ケーブルテレビ引込線	・ケーブルテレビ幹線から各家庭への引込線
4	八坂地域ケーブルテレビ幹線 (同軸)	・難視聴地域である八坂地域にケーブルテレビによる映像等を伝送するための幹線としての役割
5	八坂地域ケーブルテレビ幹線 (光)	・難視聴地域である八坂地域にケーブルテレビによる映像等を伝送するための幹線としての役割
6	八坂地域ケーブルテレビ引込線	・ケーブルテレビ幹線から各家庭への引込線
7	大町地域ケーブルテレビ幹線	・大町地域にケーブルテレビによる映像等を伝送するための幹線としての役割
8	大町地域ケーブルテレビ引込線	・ケーブルテレビ幹線から各家庭への引込線

②施設の現状と課題

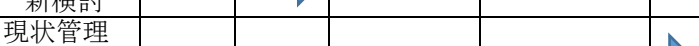
NO	施設名	施設の現状と課題
1	イントラネットケーブル	・現状から施設の機能は十分果たしている。 ・今後も、施設の点検を通じ、適切に管理していく必要がある。
2	美麻地域ケーブルテレビ幹線	・平成12年度に整備された施設で、経過年数もあり、またBSパススルー放送や4K放送に対応できないため、光ケーブルへの更改が必要
3	美麻地域ケーブルテレビ引込線	・平成12年度に整備された施設で、経過年数もあり、またBSパススルー放送や4K放送に対応できないため、光ケーブルへの更改が必要
4	八坂地域ケーブルテレビ幹線(同軸)	・BSパススルー放送や4K放送に対応できないため、旧大町市地域とサービスに差が生じている。光ケーブルへの更改が必要

5	八坂地域ケーブルテレビ幹線（光）	・現状から施設の機能は十分果たしている。 ・今後も、施設の点検を通じ、適切に管理していく必要がある。
6	八坂地域ケーブルテレビ引込線	・BS パススルー放送や4K 放送に対応できないため、旧大町市地域とサービスに差が生じている。光ケーブルへの更改が必要
7	大町地域ケーブルテレビ幹線	・大町地域にケーブルテレビによる映像等を伝送するための幹線としての役割
8	大町地域ケーブルテレビ引込線	・ケーブルテレビ幹線から各家庭への引込線

（４）施設の利用状況及び運営管理に係る経費

NO	施設名称	施設の利用状況（人）				R 6 維持管理（千円）		利用者 1 人コスト （円）	市民 1 人コスト （円）
		指標	R 4	R 5	R 6	歳入	歳出		
1	イントラネットケーブル	利用システム数	8	8	650	0	2, 168	3, 335	86
2	美麻地域ケーブルテレビ幹線	利用者数	370	367	767	0	1, 981	2, 583	79
3	美麻地域ケーブルテレビ引込線	利用者数	370	367	767	0	0	0	0
4	八坂地域ケーブルテレビ幹線（同軸）	利用者数	290	279	573	0	1, 746	3, 049	69
5	八坂地域ケーブルテレビ幹線（光）	利用者数	290	279	573	0	2, 278	3, 978	91
6	八坂地域ケーブルテレビ引込線	利用者数	290	279	573	0	0	0	0
7	大町地域ケーブルテレビ幹線	利用者数	2, 083	2, 025	4, 205	2, 350	12, 321	2, 371	396
8	大町地域ケーブルテレビ引込線	利用者数	2, 083	2, 025	4, 205	0	0	0	0

（５）施設の具体的な方向性・対策の内容等

NO	施設名称	スケジュール【上段：対策内容 中段：費用（千円）】						今後の方向性	
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第 1 期	第 2 期
1	イントラネットケーブル	現状管理						継続	継続
2	美麻地域ケーブルテレビ幹線	光ケーブルへの更新検討			光化工事 478, 500	撤去工事 50, 621		更新撤去	廃止
3	美麻地域ケーブルテレビ引込線	光ケーブルへの更新検討			光化工事 478, 500	撤去工事 50, 621		更新撤去	廃止
4	八坂地域ケーブルテレビ幹線（同軸）	光ケーブルへの更新検討			光化工事 478, 500	撤去工事 50, 621		更新撤去	廃止
5	八坂地域ケーブルテレビ幹線（光）	現状管理						継続	継続
6	八坂地域ケーブルテレビ引込線	光ケーブルへの更新検討			光化工事 478, 500	撤去工事 50, 621		継続	継続
7	大町地域ケーブルテレビ幹線	現状管理						継続	継続
8	大町地域ケーブルテレビ引込線	現状管理						継続	継続

第3章 本計画の充実を図るための方針

公共施設マネジメントの基本的な考え方による取組みを効果的に推進するため、次の方針に基づき本計画の充実を図ります。なお、取組みを進めるに当たっては、限られた財源を有効に活用し、施設の長寿命化や除却、脱炭素等を推し進めるため、財政部局との連携を図り、国庫補助をはじめた各種補助金を最優先に、それ以外には適合する地方債を活用するものとします。

1 維持管理の実施方針

日常的な点検・診断等の結果や、修繕・改修等の履歴を集積・蓄積し、本計画の見直しに反映し、施設の充実及び長寿命化を図ります。施設の点検によりは把握した老朽化の度合いや危険箇所について、不特定多数の市民が利用する施設、保育施設、福祉施設を優先とし、また部位の重要度、改修をしない場合のリスクなどを総合的に評価し、優先付けを行います。

(活用可能な地方債：過疎対策事業債・辺地対策事業債・緊急防災・減債事業債など)

2 防災機能・耐震化の実施方針

公共施設等は、災害時の拠点施設となるものであることから、平常時の安全だけでなく、災害拠点施設や避難施設としての防災機能の確保及び耐震化を図ります。

(活用可能な地方債：緊急防災・減債事業債など)

3 ユニバーサルデザイン化の実施方針

公共施設等の改修、更新等に当たっては、誰もが利用しやすく暮らしやすいまちづくりを目指し、ユニバーサルデザインに対応した施設整備を推進します。今後、施設の改修等の機会を捉えて順次実施していきます。

(活用可能な地方債：過疎対策事業債・辺地対策事業債・緊急防災・減債事業債など)

4 脱炭素化の推進方針

公共施設等の改修、更新等に当たっては、断熱性能の高い材料の使用、照明のLED化など省エネルギー性能に優れた機器等の導入、また太陽光発電施設などの再生可能エネルギーの導入を推進し、計画的な脱炭素化に努めます。しかしながら、多くの施設を抱える本市においては、現行の照明器具をLED化するにあたり、9億5000万円程度が見込まれることから、財政部局と関係を密にし、有効な補助金や地方債を活用するなど、計画的にLED化を進めます。

(活用可能な資産：脱炭素化推進事業債など)

第4章 フォローアップの実施方針、市民等への情報提供

1 フォローアップの実施方針

本計画の推進にあたっては、施設管理担当課において計画した内容の着実な実施を図るとともに、大町市公共施設等総合管理推進本部において計画の進行管理を行い、PDCAサイクルのもと、計画の見直しを図ります。

また、公共施設マネジメントのあり方、経営的視点に立った総量の最適化、維持管理手法及びコストなどに対する職員意識の向上に努めます。

2 市民や施設利用者への情報提供

公共施設等の適正配置の検討にあたっては、市民や施設利用者に対し、適切な情報提供を行い、市全体で共有化を図ります。